

2023(令和5)年度

川崎市こころの健康に関する意識調査

報告書

川崎市

2023(令和5)年11月

《要旨》

【目的】川崎市自殺対策の推進に関する条例第9条第1項第2号に掲げる自殺の防止等に関する市民の理解の増進を図るため、自殺予防を含む総合的なこころの健康づくりを進める基礎資料を得ることを目的とした。

【方法】2023（令和5）年4月17日～5月1日に、郵送配布による質問紙調査を実施した。市内7区から層別無作為抽出した20歳～79歳の男女計3,360人を調査対象者とした。

【結果および考察】1,301人が郵送またはインターネットにより回答した。有効回答率は38.7%と、2020年度調査の50.4%を下回った。コロナ禍も3年を経て社会全体がかつての日常を取り戻しつつある中での調査回答機会の喪失・低下の結果と推察される。

2020年度調査で採用し、本調査でも教示文含め同内容で回答を求めた項目については2回の調査間の結果を比較概観したが、2回の調査間で顕著な相違が確認された項目は認められなかった。

ただし、着目すべき点として、WHO-5精神健康状態表簡易版にて測定した精神的健康については、2020年度調査では29.2%の者が精神的健康の悪化ありに該当したが、本調査では23.6%であった。

2020年度調査の期間がわが国政府による1回目の「緊急事態宣言」中であったことから、3年を経て市民の新型コロナウイルス感染症への不安や懸念、および感染症流行に伴う生活への影響が相対的に低下しつつあることを反映している可能性が考えられる。その一方で、「地域とのつながり」や「行事などの社会参加の状況」については、本調査と2020年度調査の結果はほぼ同水準であった。

相談先・相談相手については、「相談したいが誰にも相談できないでいる」または「相談したいがどこに相談したらよいかわからない」と回答した者、すなわち相談ニーズがあるにもかかわらず相談に至っていない者の割合が2020年度調査では9.7%であったのに対し、本調査では16.6%であった。また、新型コロナウイルス感染症については、回答者全体の14.6%がコロナ禍の影響で「生活に支障あり」と報告した。さらには、62.7%が「人（同僚や家族、友人等）とのコミュニケーションの時間が少なくなった」との項目に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答していた。コロナ禍において、サポート資源の乏しい状況におかれていたり、支援が必要であるにもかかわらずサポートを求められない状態にある者が一定数以上存在することが示唆された。

【結論】2020年度調査との調査対象者および調査方法の相違を反映している可能性は常に考慮すべきであるが、2023年度の本調査においても、精神的健康の悪化した者、地域とのつながりの感覚や社会参加の少ない者、相談ニーズがあるにもかかわらず相談に至っていない者、コロナ禍による日常生活への支障がある者、および家族・友人・同僚などとのコミュニケーションの減少を報告した者が確認されたことから、今後も感染症の流行など公衆衛生的危機下での市民の精神的健康についての継続的な調査が望まれる。本調査を受けて策定を行う第4次川崎市自殺対策総合推進計画は、3年に渡る新型コロナウイルスの感染拡大が市民の心身の健康や日常生活、QOLに及ぼしたであろう影響を十分考慮した内容とする必要がある。

目的

川崎市自殺対策の推進に関する条例第9条第1項第2号に掲げる自殺の防止等に関する市民の理解の増進を図るため、市民の精神保健や自殺対策に対する意識を明らかにし、自殺対策事業の参考とすることを目的とした。

I. 方法

(1)20歳～79歳の範囲で10歳刻み(6分割)、
(2)男女(2分割)、(3)行政区(7分割)の3要因の84の組合せごとに40人ずつを無作為抽出した3,360人を調査対象者とした。調査票は本調査を委託した調査会社から2023(令和5)年4月17日に郵送された。回答方法については、郵送またはインターネットのいずれかの方法とした。回答期限を同年5月1日までとし、インターネット回答については同日までの回答、郵送回答については同年5月7日までに返送された調査票を本報告書の分析対象とした。

調査票はこころの健康及び自殺対策への意識や理解に関する以下の項目から構成された。

- 1) こころの健康に対する関心(質問1)
- 2) 悩み・ストレスの有無と対処方法(質問2～5)
- 3) こころの健康状態(質問6・7)
- 4) 地域とのつながりや社会参加の状況、社会的支援(ソーシャルサポート)の状況(質問8～12)
- 5) メンタルヘルス、自殺関連行動及び自殺対策に関する意識と理解(質問13～17)
- 6) インターネットの使用状況(質問18)
- 7) 新型コロナウイルスの日常生活への影響(質問19・20)
- 8) 基本属性(質問21～25)

地域とのつながりや社会参加の状況について

は、川崎市における他の意識調査において使用された項目を用いた(文献1)。

こころの健康状態については、The Kessler Psychological Distress Scale(K6)日本語版(文献2)、ならびにWHO-5精神健康状態表簡易版(S-WHO-5-J)(文献3)を用いて評価した。6項目からなるK6では(項目の内容は調査票の質問6を参照のこと)、各項目の選択肢について、「全くない」を0点、「いつも」を4点として、6項目の合計点(0～24点)を算出した。そのうえで、13点以上を「心理的苦痛あり」とした。また、5項目で構成されるS-WHO-5-Jでは(項目の内容は調査票の質問7を参照のこと)、各項目の選択肢について、「全くなかった」を0点、「いつもそうだった」を3点として、5項目の合計点(0～15点)を算出した。そのうえで、5点以下を「精神的健康の悪化あり」とした。

さらには、新型コロナウイルス感染症の日常生活への影響については、新型コロナウイルス恐怖尺度日本語版を用いた(項目の内容は調査票の質問19を参照のこと)。各項目の選択肢について、「そう思わない」を1点、「そう思う」を5点として、7項目の合計点(7～35点)を算出した。そのうえで、21点以上を「日常生活に支障あり」と定義した。

各項目の基本集計は調査票そのままの選択肢に基づいて、市全体ならびに行政区別で実施した。また、2020年度(令和2年度)に実施された「川崎市こころの健康に関する意識調査」(以下、「2020年度調査」とする)において着目し、今回の2023年度(令和5年度)調査においても継続して調査した項目については、2回の調査間の結果を比較概観した。

倫理的配慮

本調査の事務は健康福祉局総合リハビリテー

ション推進センターが担当し、個人情報保護法を踏まえて個人情報を厳重かつ適正に管理した。調査対象者に郵送した調査説明書には、以下の点を明記した。

- 1) 調査への回答は任意であること。
- 2) 調査に協力しないことではいかなる不利益も受けないこと。
- 3) 調査で得られた情報を適切に管理し、統計的処理を行うことで個人が特定されることはないこと。

II. 結果

3,360 人に対し調査票が郵送され、1,301 人が調査票に回答した（回答率：38.7%）。そのうち、899 人が郵送、402 人がインターネットにより回答した。

i) 回答者全体における基本集計結果

1) **こころの健康に対する関心（質問 1）**

回答者の約 80%がこころの健康に「高い関心がある」または「やや関心がある」と回答した。「ほとんど関心がない」者は全体の 5%以下であった（図 1）。

2) **悩み・ストレスの有無と対処方法（質問 2～5）**

日常生活での悩みやストレスが「ある」と回答した者は約 70%であった（図 2）。悩みやストレスの内容としては、「自分の仕事」が最も多く、約 5 割が回答した。「収入・家計・借金等」が次いで回答が多く、以下「自分の病気や介護」「家族の病気や介護」「生きがいにすること」の順であった（図 3）。

「悩みやストレスの相談先としては、「家族」「友人・知人」が顕著に多かった。その一方で、「相談したいが誰にも相談できないでいる」もしくは「相談したいがどこに相談したらよいかわか

らない」と回答した者が約 17%認められた（図 5）。

日常生活の不満、悩み、苦勞、ストレス等を解消するために「よくする」と回答した項目では、「睡眠をとる」が約半数と最多であり、それ以外の方法は 3 割以下であった（図 7）。

3) **こころの健康状態（質問 6・7）**

K6 において、「強い心理的苦痛あり」のカットオフ値とされる 13 点以上の者は回答者の 10.4%であった。S-WHO-5-J については、「精神的健康悪化の状態」のカットオフ値とされる 5 点以下の者の割合は 23.6%であった。

4) **地域とのつながりや社会参加の状況、社会的支援（ソーシャルサポート）の状況（質問 8～12）**

地域とのつながりに関連する項目（質問 8）では、回答者の多くが「どちらかといえばそう思う」「どちらともいえない」のいずれかに回答した（図 8）。

過去 1 年間に「趣味」関連の行事・活動に参加した者は回答者の 2 割を超えていた一方、約 5 割の者がいずれの活動にも「参加していない」と回答した（図 9）。

様々な状況において自分を心理的・物理的にサポートしてくれる人が「すこしいる」と回答した者が「ちょっとした用事や留守番を頼める人」を除き、その他全ての項目で全体の約 6 割であった。その一方で、そのような人は「いない」と回答した者も 1 割ほど認められた（図 10）。

周囲に健康・生活状況が気になる人がいるという回答者は約 6 割で（図 11）、そのような人がいる場合、約 7 割が「とりあえず声をかけて話をきく」と回答した（図 12）。

5) **メンタルヘルス、自殺関連行動及び自殺対策に関する意識と理解（質問 13～17）**

「こころの健康問題（精神疾患）は生活習慣病と同じように、誰もがかかりうる病気だ」、「こ

ろの健康問題（精神疾患）は早期に適切な治療や支援を受ければ、多くは改善する」のいずれも、回答者全体の8割程度が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した（図13）。

自殺予防に関する知識・理解については、「精神疾患のある人だけが自殺する」以外の項目では、全体の約4割～6割の者が「わからない」と回答した（図14）。

社会全体で自殺対策に取り組む理由については、6割以上が「すべての人にとって身近に存在する問題だから」「自殺した人の家族や周囲に大きな悲しみや困難をもたらすから」と回答した（図15）。

「ゲートキーパー」について「内容を知っている」と回答した者は全体の5%未満であった（図16）。

悩んでいる人や自殺に傾いている人への対応については、「ねぎらう」「心配していることを伝える」「話をじっくり聴く」「自分で自分の心身の健康を管理する」は6割以上が「十分できる」または「すこしはできる」と回答した。これらの対応と比較して、「悩んでいる人に自殺を考えているかたずねる」及び「悩んでいる人に相談先を紹介する」については、「あまりできない」または「まったくできない」と回答した者が多くなっていた（図17）。

6) インターネットの使用状況（質問18）

回答者の約80%が、スマートフォンなども含めインターネットを「ほぼ毎日」使用していると回答した。インターネット使用者の約4割は「ほぼ毎日」友人や仲間とインターネットを介して連絡をとっていた一方で、約1割は「連絡や会話はしていない」と回答した。また、約7割はインターネットで自身の悩みを「あまり伝えていない」「まったく伝えていない」と回答した。

7) 新型コロナウイルスの日常生活への影響（質問19・20）

新型コロナウイルス恐怖尺度については、「日常生活に支障あり」のカットオフ値とされる21点以上の者の割合は14.6%であった。

新型コロナウイルス流行以降の生活変化については、回答者の6割以上が、「人（同僚や家族、友人等）とのコミュニケーションの時間が少なくなった」との項目に「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した。同様に、「職場における仕事量が増えた、または仕事の内容が変わった」は回答者の約4割、「家庭における家事や育児、介護等の負担が増えた」「こころの健康が悪化した」「からだの健康が悪化した」「家族や大事な人とのつながりが失われた」は約2割が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した。また約1割は「生活が脅かされるほど収入が少なくなった」に「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した（図18）。

8) 基本属性（質問21～25）

回答者の約57%は女性であった。年齢階級別では、70歳以上が最も多く、次いで60歳代が多かった（表1）。就業状況では、約4割はフルタイム勤務であった一方で、年金受給者を含め約19%が無職であった。回答者の約66%は核家族世帯であった一方、約2割は単独世帯であった。回答者の約6割は市内に20年以上居住していた。

ii) 7行政区間の比較、および精神的健康の悪化と関連する要因に関するクロス集計

7つの行政区間で各項目の回答の分布が異なるかを確認するため、クロス集計を実施した（資料1）。2023年度調査ではインターネット回答が可能といった調査方法の相違はあるものの、2020年度調査で採用し、2023年度調査でも教示文含め

同内容で回答を求めた項目については、2回の調査間の結果を比較概観した。

結果を概観するに、2回の調査間で顕著な相違が確認された項目はなかった。質問1「こころの健康への関心」については10.1%が「あまり関心がない」「ほとんど関心がない」のいずれかに回答しており、2020年度調査の14.2%と概ね同水準であった。

精神的健康度に関する質問6「K6」および質問7「S-WHO-5-J」については、「S-WHO-5-J」では2020年度調査においては29.2%の者が精神的健康の悪化ありに該当したが、2023年度調査では23.6%であり、6%程度低かった。2023年度調査では麻生区以外の区で一貫して2020年度調査よりも悪化ありの割合が低くなっていた。

質問8「地域とのつながり」では、2020年度調査でも着目した項目である「地域の人を信頼できる」「この地域の役に立ちたい」において「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせて回答者全体の1割強、「この地域の一員であると実感できる」において3割弱であった。これらの割合は2020年度調査とほぼ同水準であり、行政区間でも顕著な差はみとめられなかった。

質問9「行事などの社会参加の状況」については、「参加していない」者の割合は45.5%と、2020年度調査の結果（41.1%）と同水準であった。行政区間でも顕著な差はみとめられなかった。

次いで、2023年度調査で新たに設けた質問や、2020年度調査と選択肢または教示文を変更した質問について、以下概括する。

悩みやストレスの有無については、質問2において、回答者の69.9%、多摩区居住の回答者では77.8%が日常生活で悩みやストレスがあると回答した。これに関連して、質問3「日常生活での悩みやストレスの内容」については、2020年度調査

と回答方法が異なるが、自分の仕事、収入・家計・借金等、自分・家族の病気や介護、家族または家族以外との人間関係など、報告数上位の項目は同内容であった。また、「収入・家計・借金等」を悩みやストレスのひとつに挙げた者の割合は川崎区で50.0%と7行政区で最も高かった。同じく質問3-1「最も気になる悩みやストレスの原因」についても、報告が多いのは自分の仕事、収入・家計・借金等、自分・家族の病気や介護であった。

日常生活で悩みやストレスがあると回答した者のみを対象とした、質問4「最も気になる悩み・ストレスに関する相談先・相談相手」については、家族の53.9%を筆頭に、友人などいわゆる「インフォーマルな」相談先が多い傾向は2020年度調査の結果と同様であったが、病院・診療所の医師も16.2%と多かった。一方、「相談したいが誰にも相談できないでいる」または「相談したいがどこに相談したらよいかわからない」と回答した者、すなわち相談ニーズがあるにもかかわらず相談に至っていない者の割合は16.8%であったが、2020年度調査では9.7%となっていた。質問4-1「最も気になる悩み・ストレスに関する相談先・相談相手」についても同様であり、家族や友人・知人などインフォーマルな相談先が多い傾向がみとめられた。

質問16「ゲートキーパーの認知度」については、回答者の85.2%が「知らない」と回答しており、行政区間でも顕著な差異はみられなかった。

新型コロナウイルス恐怖尺度日本語版を用いた質問19については回答者全体の14.5%がコロナ禍の影響で「生活に支障あり」に該当したが、行政区間で顕著な差異はみられなかった。

同じく新型コロナウイルス感染症の影響に関する質問20については、2020年度調査では「あなたのこれからの生活について」という新型コロ

新型コロナウイルス感染症関連の予期不安を尋ねているのに対し、2023年度調査では「新型コロナウイルス感染症の流行以降にあなたの生活に起こった変化」を尋ねており、同じ項目が複数あるものの質問意図が大きく異なっていた。しかしながら、2023年度調査の新設項目である「人(同僚や家族、友人等)とのコミュニケーションの時間が少なくなった」においては回答者の62.6%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」のいずれかを回答していた。本項目の回答状況で行政区間での顕著な差異はみとめられなかった。

悩み・ストレスの主たる相談先と精神的健康の悪化については(質問4×質問7)、家族への相談ありと回答した者の割合は精神的健康悪化あり群では46.7%、悪化なし群では58.0%であった。その一方で、「相談したいが誰にも相談できないでいる」者は精神的健康悪化あり群では16.8%、悪化なし群では6.4%であった。同様に、「相談したいがどこに相談したらよいかわからない」と回答した者は精神的健康悪化あり群では10.6%、悪化なし群では5.1%であった(図19)。

地域とのつながり(「地域の人を信頼できる」、「この地域の役に立ちたい」、「この地域の一員であると実感できる」)と精神的健康の悪化については、「そう思う」と「どちらかそう思う」に精神的健康の悪化なし群が多く、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」に精神的健康の悪化あり群が多かった。

新型コロナウイルス流行以降の生活の変化と精神的健康の悪化については(質問20×質問7)、2023年度調査の新設項目である「人(同僚や家族、友人等)とのコミュニケーションの時間が少なくなった」という項目に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の割合は精神的健康悪化あり群(64.6%)・なし群(61.8%)間でほぼ

同水準であった(図20)。

III. 考察

本調査は川崎市内各区から無作為抽出された20歳~79歳の市民を対象として、新型コロナウイルス感染症に関する項目も含め、精神保健および自殺対策についての実態把握を試みた。(1)2020年度調査と本調査(2023年度調査)とではインターネット回答の可否という調査方法の相違がある、(2)調査対象者には20歳未満の児童生徒・学生や80歳以上の高齢者が含まれてない、といった留意点はあるものの、本調査は新型コロナウイルスの感染拡大から概ね3年が経過した時期での市民の精神保健の現状を把握するうえで貴重な基礎資料となると考えられる。

2020年度調査で採用し、2023年度調査でも教示文含め同内容で回答を求めた項目については2回の調査間の結果を比較概観したが、2回の調査間で顕著な相違が確認された項目はなかった。ただし、質問7「S-WHO-5-J」については、2017年度調査では15.2%、2020年度調査では29.2%の者が精神的健康の悪化ありに該当したが、2023年度調査では23.6%であった。調査対象者および調査方法の相違を反映している可能性は常に考慮すべきであるが、2020年度調査時点がわが国政府による1回目の「緊急事態宣言」中であったことから、3年を経て市民の新型コロナウイルス感染症への不安や懸念、および感染症流行に伴う生活への影響が相対的に低下しつつあることを反映している可能性が考えられる。また、2023年度調査では、2020年度調査における精神的健康の悪化ありの該当割合より低いとはいえ、2017年度調査の同割合よりも高いことがうかがえる。その一方で、質問8「地域とのつながり」や質問9「行事などの社会参加の状況」については、2023年度調

査と 2020 年度調査の結果はほぼ同水準であり、社会活動や外出の自粛、飲食店の営業時間の短縮といった制約がなくなり、はしたものの市民の地域とのつながりの感覚や社会参加の状況が好転したとは判断しかねる結果と解釈できよう。

2023 年度調査で新たに設けた質問や、2020 年度調査と選択肢または教示文を変更した質問については、質問 3「日常生活での悩みやストレスの内容」において、自分の仕事、収入・家計・借金等、自分・家族の病気や介護、家族または家族以外との人間関係など、ストレスとしての報告数が上位の項目は同内容であった。全体的に各ストレス項目を報告した者の割合が増加しているのは、調査対象者の相違というよりも、調査項目の教示文の相違によるものであろう。

悩みやストレスがある者のみを対象とした、質問 4「最も気になる悩み・ストレスに関する相談先・相談相手」については、家族・友人などの「インフォーマルな」相談先が多い傾向は 2020 年度調査の結果と同様であった。一方、2023 年度調査では相談先として「病院・診療所の医師」を報告した者も 16.1%と多かった。本調査の回答者には相対的に高齢者が多いうえ、コロナ禍による受診控えなどが減少したことが背景にあるものと推察される。

相談先・相談相手に関連して 2023 年度調査の結果で留意すべきは、「相談したいが誰にも相談できないでいる」または「相談したいがどこに相談したらよいかわからない」と回答した者、すなわち相談ニーズがあるにもかかわらず相談に至っていない者の割合が 2020 年度調査では 9.7%であったのに対し、2023 年度調査では 16.6%であったことである。これらの質問項目は回答者の社会的孤立に関するものと考えられ、市民においてもサポート資源の乏しい状況におかれていた

り、支援が必要であるにもかかわらずサポートを求められない状態にある者が 7 人に 1 人の割合で存在し得ることが示唆された。

「自殺は孤立の病」と言われることからもうかがえるように、自殺予防を考えるうえで、医療機関への受診、公的機関や専門家への相談、家族・友人・上司・同僚への日常的な相談など、「自分の置かれた困難な状況や問題を改善・解決するために他者からの援助を求める行動」である「援助希求行動（援助要請行動とも呼ばれる）（help-seeking behavior）」の促進は重要な課題である。世界保健機関（WHO）による、自殺予防および自殺対策に関する学術的知見を総括したレポート

「Preventing suicide: a global imperative（邦題：自殺を予防する：世界の優先課題）」においても、自殺の危険因子のひとつとして「援助希求行動に関連するスティグマ」が挙げられている。特に、自殺の最大の危険因子のひとつである精神疾患などメンタルヘルスの問題に関して専門家に援助を求める（すなわち、精神科などの専門医療機関を受診したり、公的サービスの提供を受ける）ことに対する社会からの根強い偏見やスティグマは、問題を抱えた本人および家族など周囲の者が必要とする支援を求める際の大きな阻害要因になっている。援助希求行動がないまたは少ない者がその結果として自殺の危険因子を多く抱え込みハイリスクな状態に陥りがちなのか、自殺に対してハイリスクな状態に陥ったことによって他者への援助希求が抑制されやすくなるのかについては相補的な関連があると推察される。したがって、実際の対策においては、例えば、問題を抱えており支援へのニーズはありつつも自ら援助を求めない（または援助を求めることを躊躇しがちである）者を実際の援助資源につなぐゲートキーパー・トレーニングを既存の人材養成のプロ

グラムに組み込むことで、自殺のハイリスク者の援助希求能力の低さ・弱さを補う取り組みが有用と考えられる。

新型コロナウイルス恐怖尺度日本語版を用いた質問 19 については回答者全体の 14.6%がコロナ禍の影響で「生活に支障あり」と報告した。また、同じく新型コロナウイルス感染症の影響に関する質問 20 については、2023 年度調査の新設項目である「人（同僚や家族、友人等）とのコミュニケーションの時間が少なくなった」においては回答者の 62.7%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」のいずれかを回答していた。いずれの項目においても回答状況に行政区間での顕著な差異はみとめられなかった。新型コロナウイルス感染症の流行以前と比較して「人（同僚や家族、友人等）とのコミュニケーションの時間が少なくなった」との報告が多いことは、質問 4 「最も気になる悩み・ストレスに関する相談先・相談相手」における、ニーズはありながらも援助希求できていないこととの関連が推察される。

興味深いことに、2023 年度調査ではインターネット回答可能としたものの、有効回答率は 38.7%と、2020 年度調査の 50.4%を下回った。2020 年度調査は前述の通りわが国政府による 1 回目の「緊急事態宣言」中に実施されており、社会活動や外出自粛という状況であったことや、社会全体の不安感の高まりなどを背景とした高い有効回答率であったと考えられる。したがって、2023 年度調査の有効回答率は市民のこころの健康への意識の低下の反映というよりも、コロナ禍も 3 年を経て社会全体がかつての日常を取り戻しつつある中での調査回答機会の喪失・低下の結果と推察される。

IV. 結論

本調査では川崎市内各区から無作為抽出された 20 歳～79 歳の市民を対象として、新型コロナウイルス感染症に関するものも含め、精神保健および自殺対策についての実態把握を試みた。2023 年度調査ではインターネット回答が可能といった調査方法の相違はあるものの、前回の 2020 年度調査から顕著な相違が確認された項目は見受けられなかった。精神的健康という観点では、2020 年度調査から 3 年を経て市民の新型コロナウイルス感染症への不安や懸念、および感染症流行に伴う生活への影響が相対的に低下しつつある可能性がうかがえる一方で、市民の地域とのつながりの感覚や社会参加の状況が好転したとは言い難い。悩みやストレスについて「相談したいが誰にも相談できないでいる」または「相談したいがどこに相談したらよいかわからない」と回答した者、すなわち相談ニーズがあるにもかかわらず相談に至っていない者の割合は 2020 年度調査に対して 2023 年度調査では増加傾向がうかがえ、サポート資源の乏しい状況におかれていたり、支援が必要であるにもかかわらずサポートを求められない状態にある者が少なからず存在し得ることが示唆された。コロナ禍の影響による日常生活への支障や、人（同僚や家族、友人等）とのコミュニケーションの減少を報告した者も多く、今後も感染症の流行など公衆衛生的危機下での市民の精神的健康についての継続的な調査が望まれる。本調査を受けて策定を行う第 4 次川崎市自殺対策総合推進計画は、3 年に渡る新型コロナウイルスの感染拡大が市民の心身の健康や日常生活、QOL に及ぼし得る影響が長期にわたる可能性を考慮した内容とする必要がある。

本調査は川崎市の委託事業として行われた。株式会社物流科学研究所が主に調査の実施を、東京慈恵会医科大学は調査データの詳細な分析と本報告書作成を担当した。

文献

- 1) 東京大学大学院人文社会系研究科・文学部社会学研究室. 川崎市の地域包括ケアシステムに関する市民意識・実態調査—単純集計表・クロス集計表—. 2018.
- 2) Furukawa TA, Kawakami N, Saitoh M, et al. The performance of the Japanese version of the K6 and K10 in the World Mental Health Survey Japan. *International Journal of Methods in Psychiatric Research*. 2008;17:152-158.
- 3) 稲垣宏樹, 井藤佳恵, 佐久間尚子, 杉山美香, 岡村 毅, 栗田主一. WHO 5 精神健康状態表簡易版 (S WHO 5 J) の作成およびその信頼性・妥当性の検討. *日本公衆衛生雑誌*. 2013. 60 巻 5 号: 294-301.
- 4) 川崎市健康福祉局. 川崎市自殺対策の推進に関する報告書 (平成 30 年度版). 2019.
- 5) 川崎市. 川崎市こころの健康に関する意識調査報告書. 2018.
- 6) 川崎市. 2020 (令和 2 年度) 川崎市こころの健康に関する意識調査報告書. 2020.

図1 こころの健康への関心（質問1）

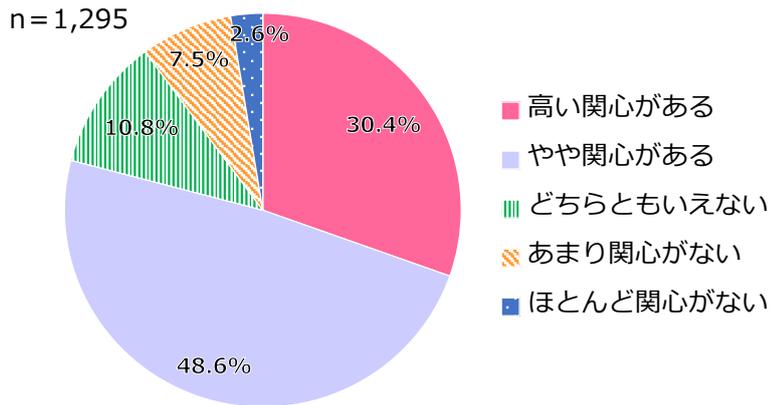


図2 日常生活での悩みやストレスの有無（質問2）

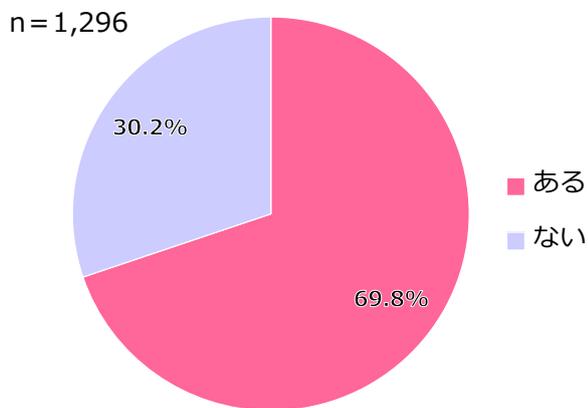
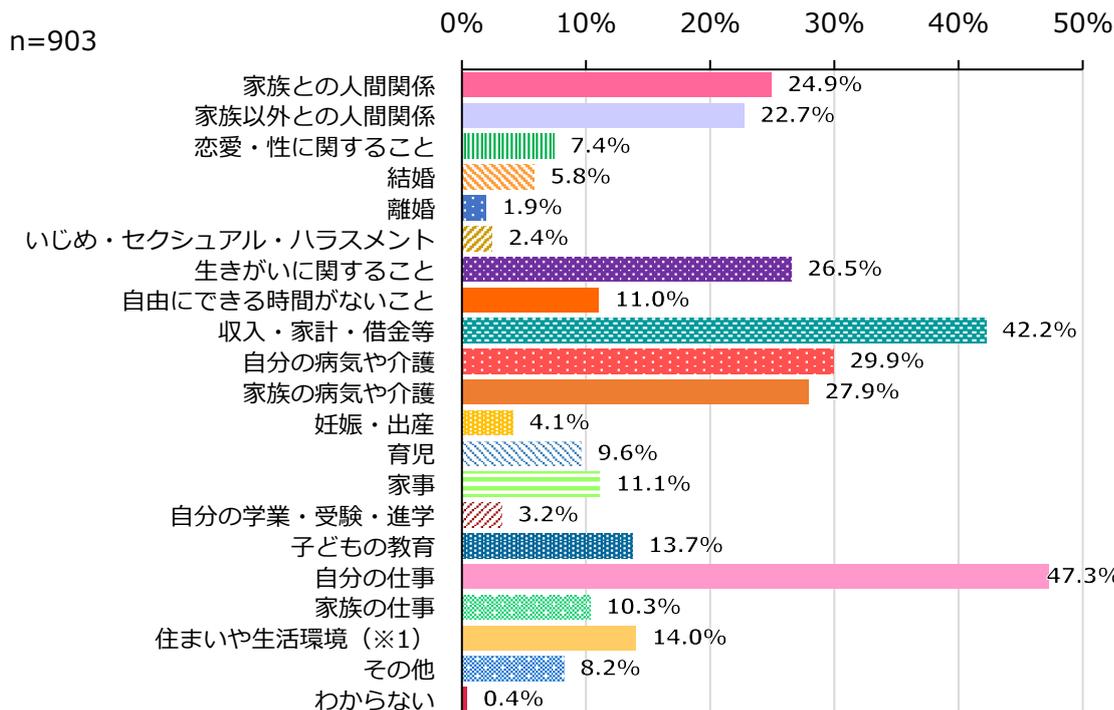
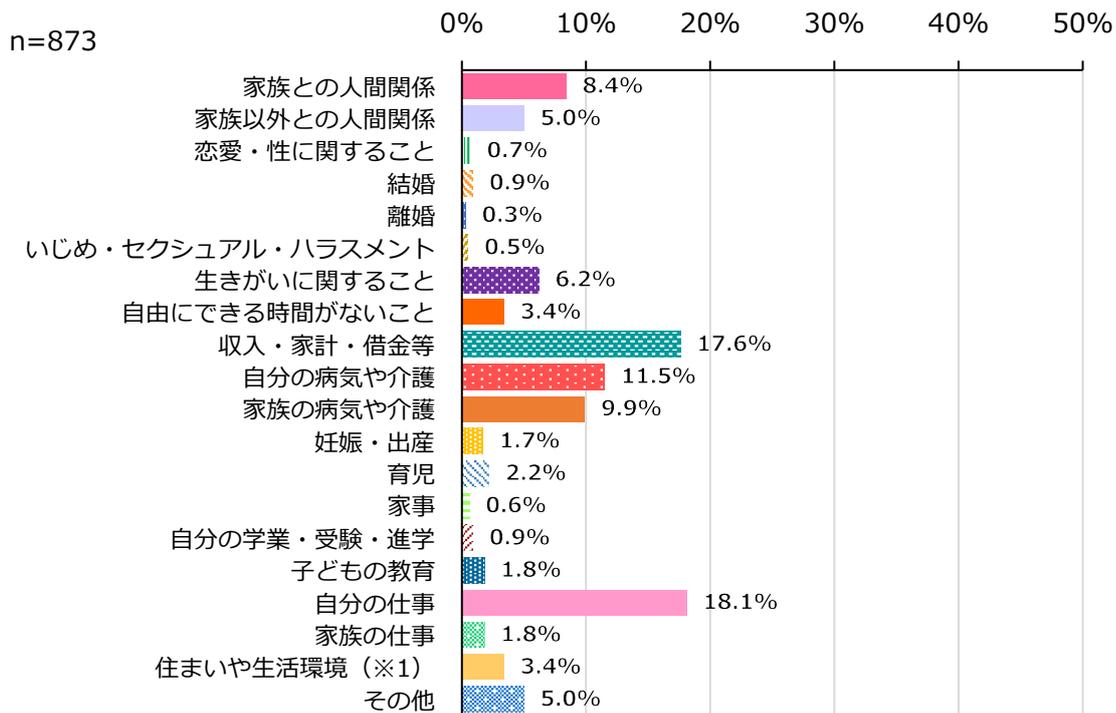


図3 悩みやストレスの内容（質問3）



※1 住まいや生活環境(公害、安全及び交通事情含む)

図4 最も気になる悩みやストレスの内容 (質問 3-1)



※1 住まいや生活環境(公害、安全及び交通事情含む)

図5 悩みやストレスに関する相談先・相談相手 (質問 4)

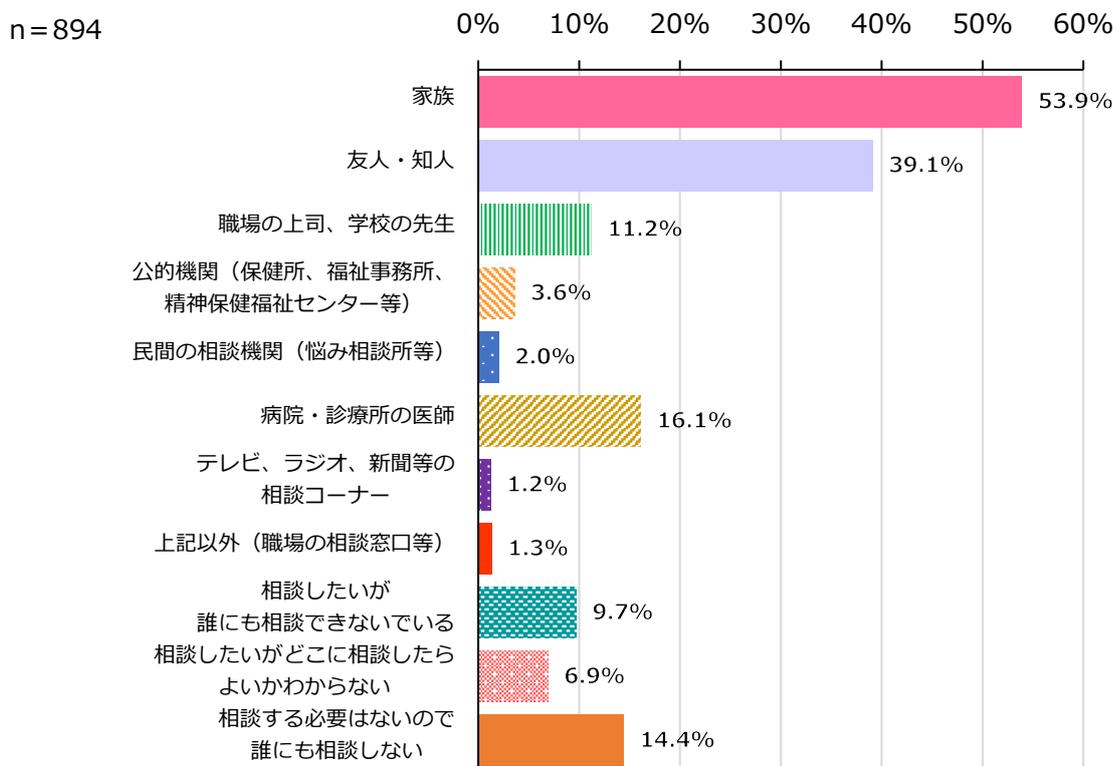


図6 最も気になる悩みやストレスに関する相談先・相談相手（質問4-1）

n=596

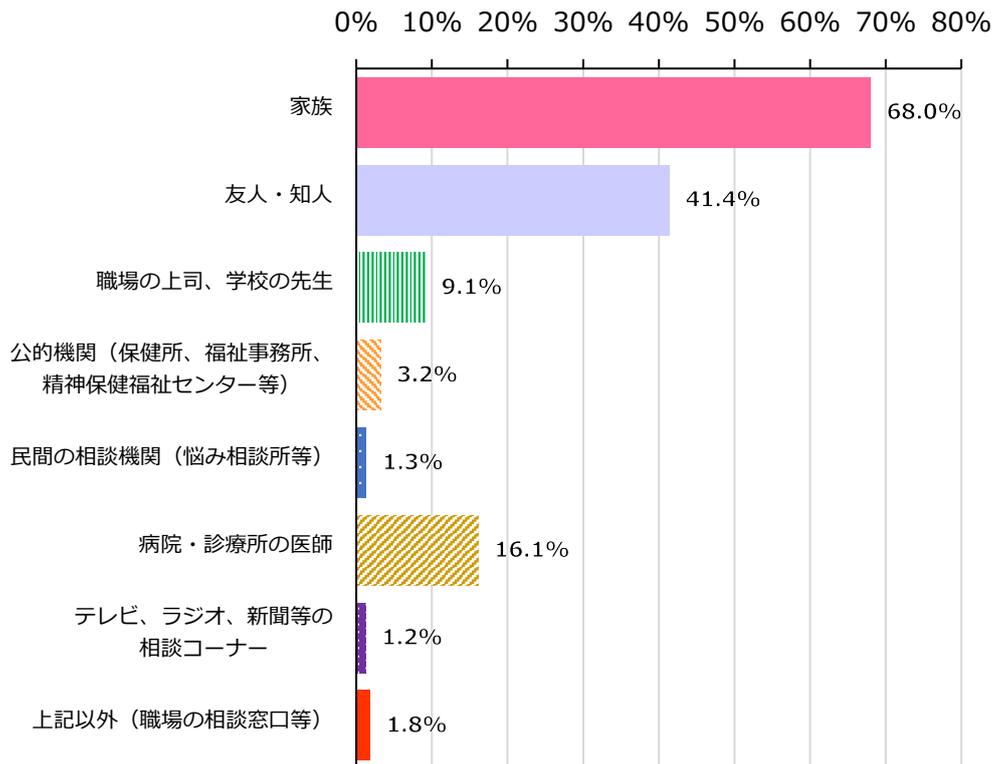


図7 日常生活の不満、悩み、苦勞、ストレス等の解消方法（質問5）

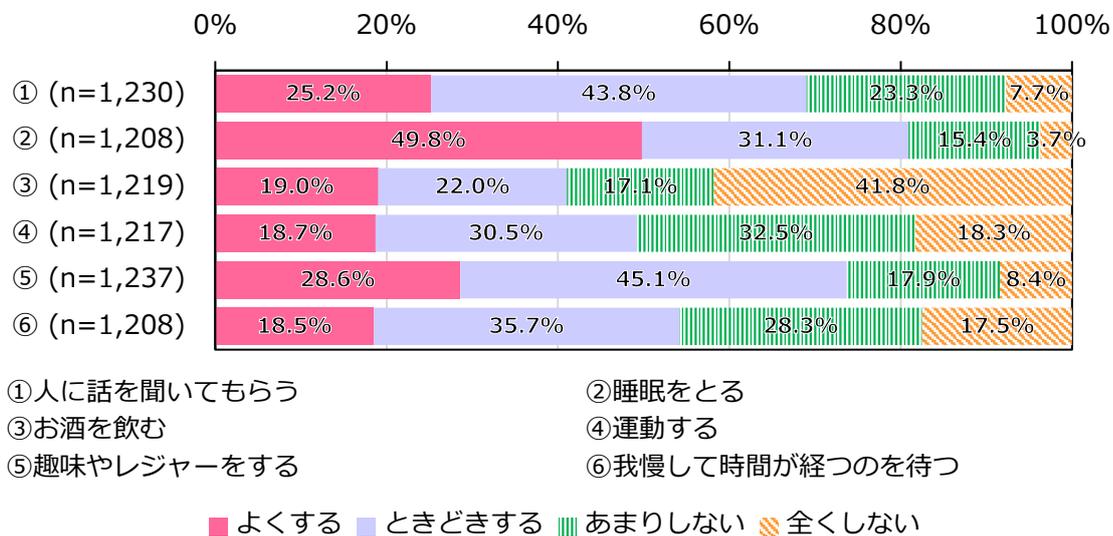


図8 地域とのつながり（質問8）

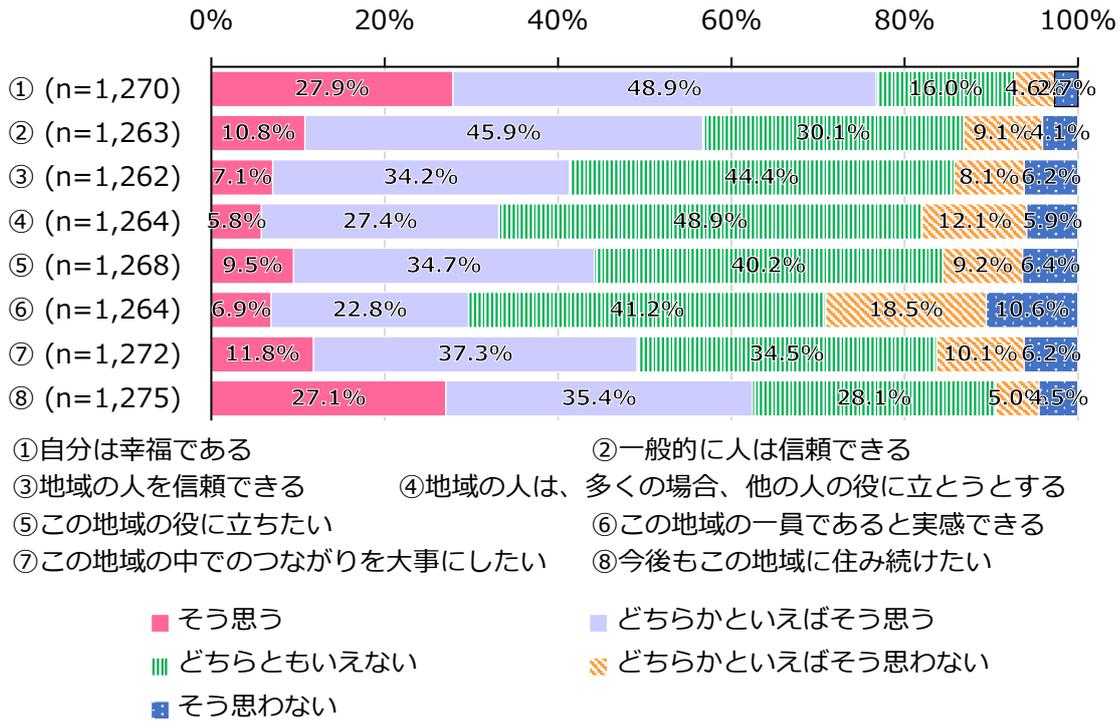


図9 行事などの社会参加の状況（質問9）

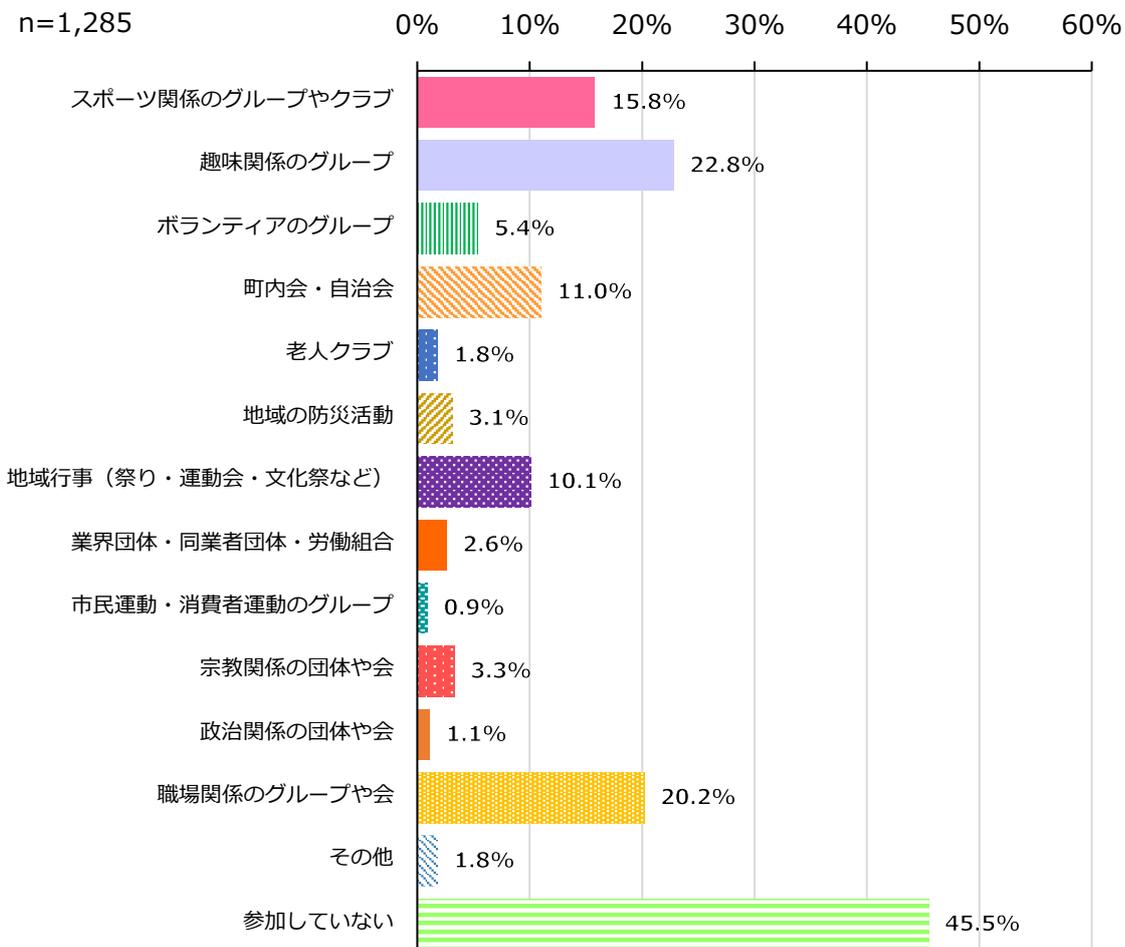


図 10 社会的支援（ソーシャルサポート）の状況（質問 10）

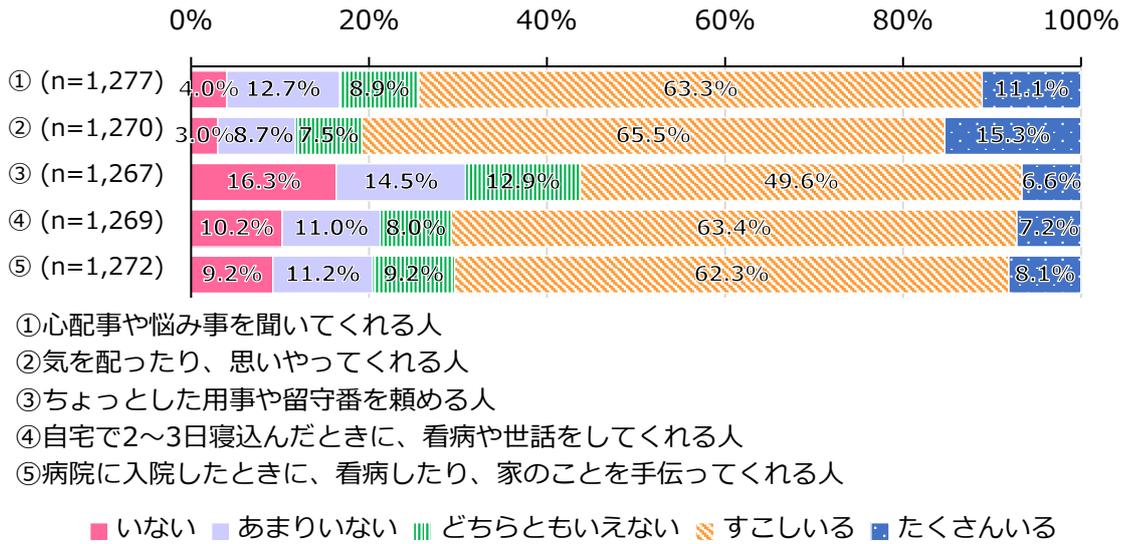


図 11 健康・生活状況が気になる周囲の人の有無（質問 11）

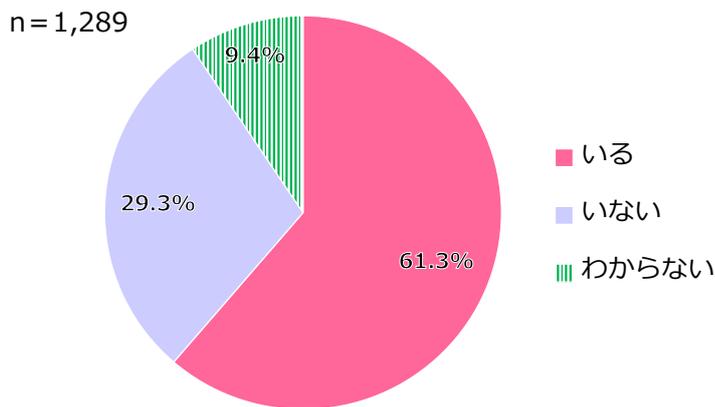


図 12 健康・生活状況が気になる周囲の人への対応（質問 12）

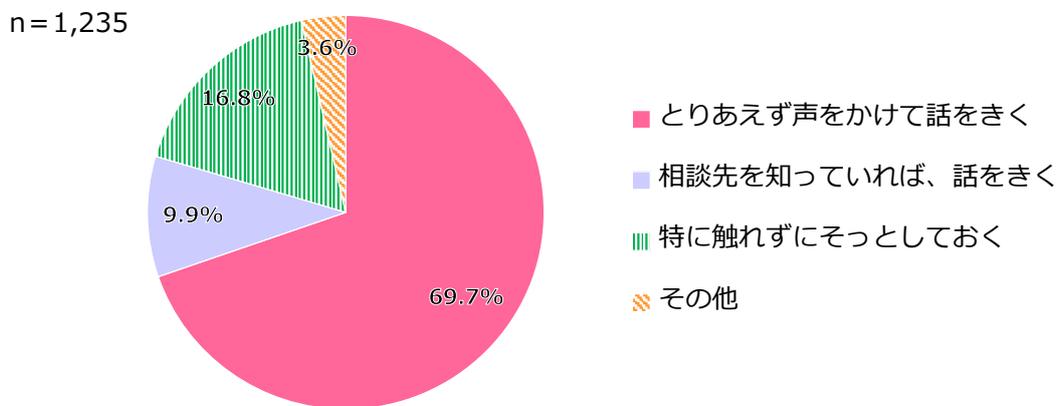
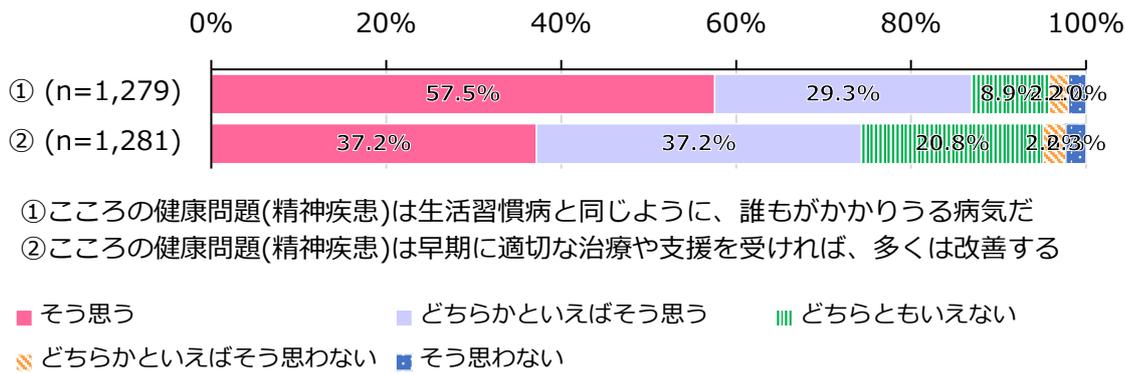
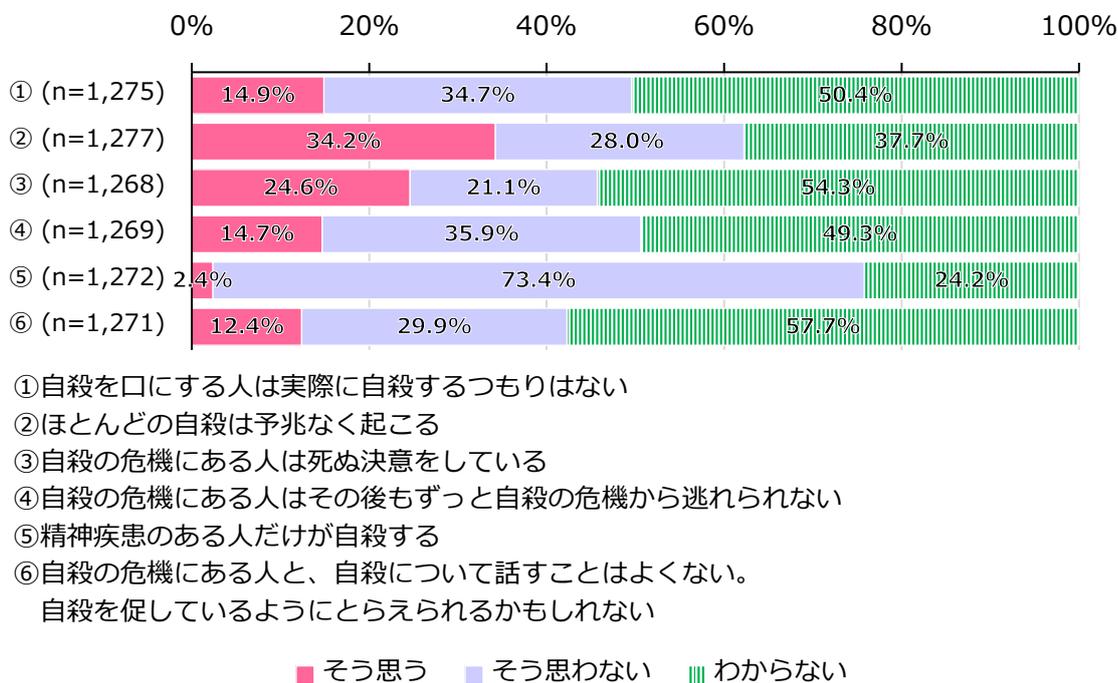


図 13 こころの健康問題に関する考え（質問 13）



- ①こころの健康問題(精神疾患)は生活習慣病と同じように、誰もがかかりうる病気だ
- ②こころの健康問題(精神疾患)は早期に適切な治療や支援を受ければ、多くは改善する

図 14 自殺関連行動に関する考え（質問 14）



- ①自殺を口にする人は実際に自殺するつもりはない
- ②ほとんどの自殺は予兆なく起こる
- ③自殺の危機にある人は死ぬ決意をしている
- ④自殺の危機にある人はその後ずっと自殺の危機から逃れられない
- ⑤精神疾患のある人だけが自殺する
- ⑥自殺の危機にある人と、自殺について話すことはよくない。
自殺を促しているようにとらえられるかもしれない

図 15 社会全体で自殺対策に取り組む理由に関する考え（質問 15）

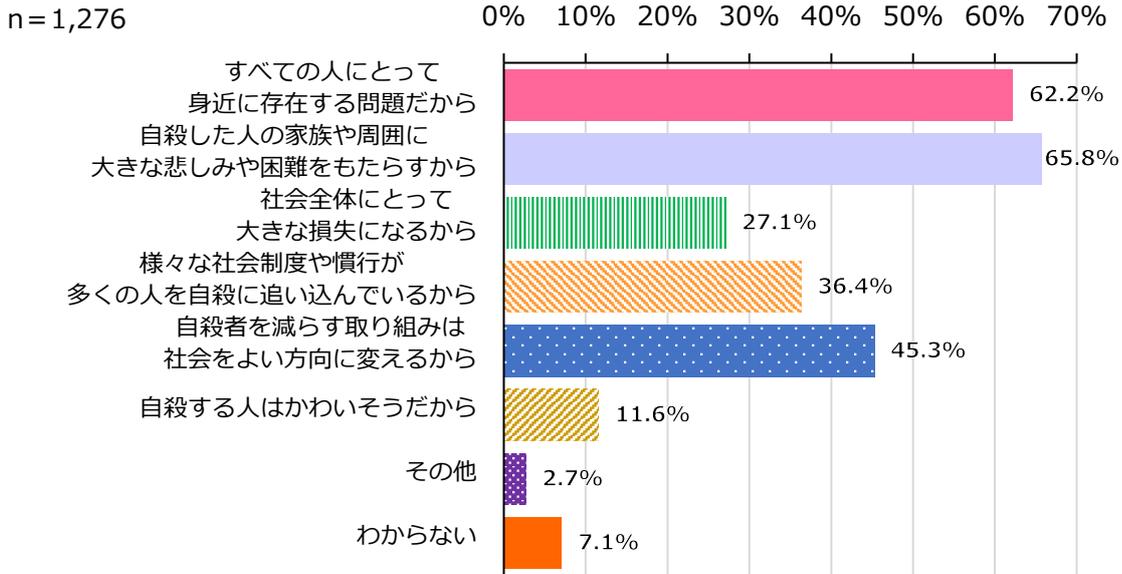


図 16 ゲートキーパーの認知度（質問 16）

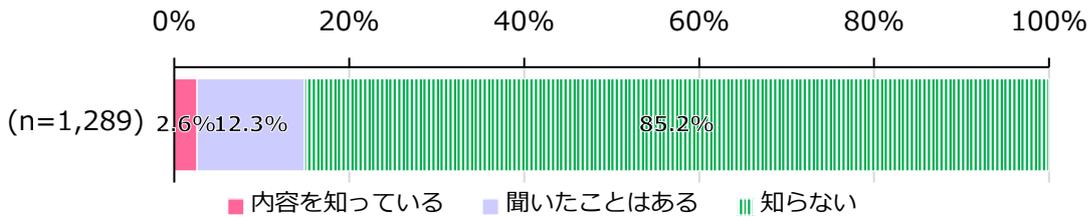
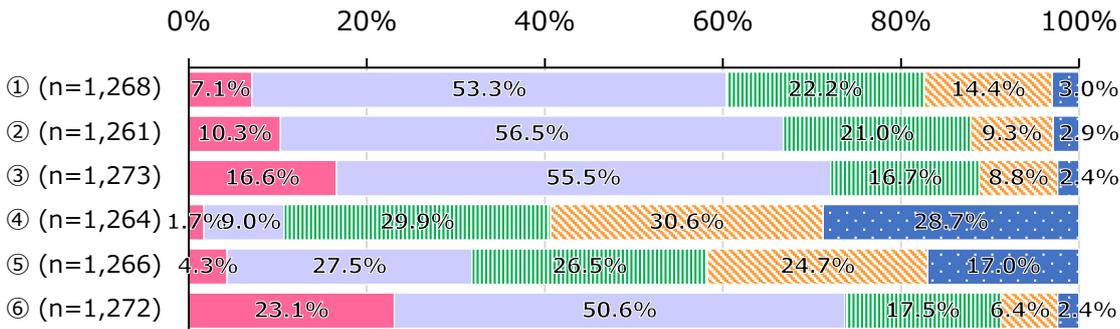


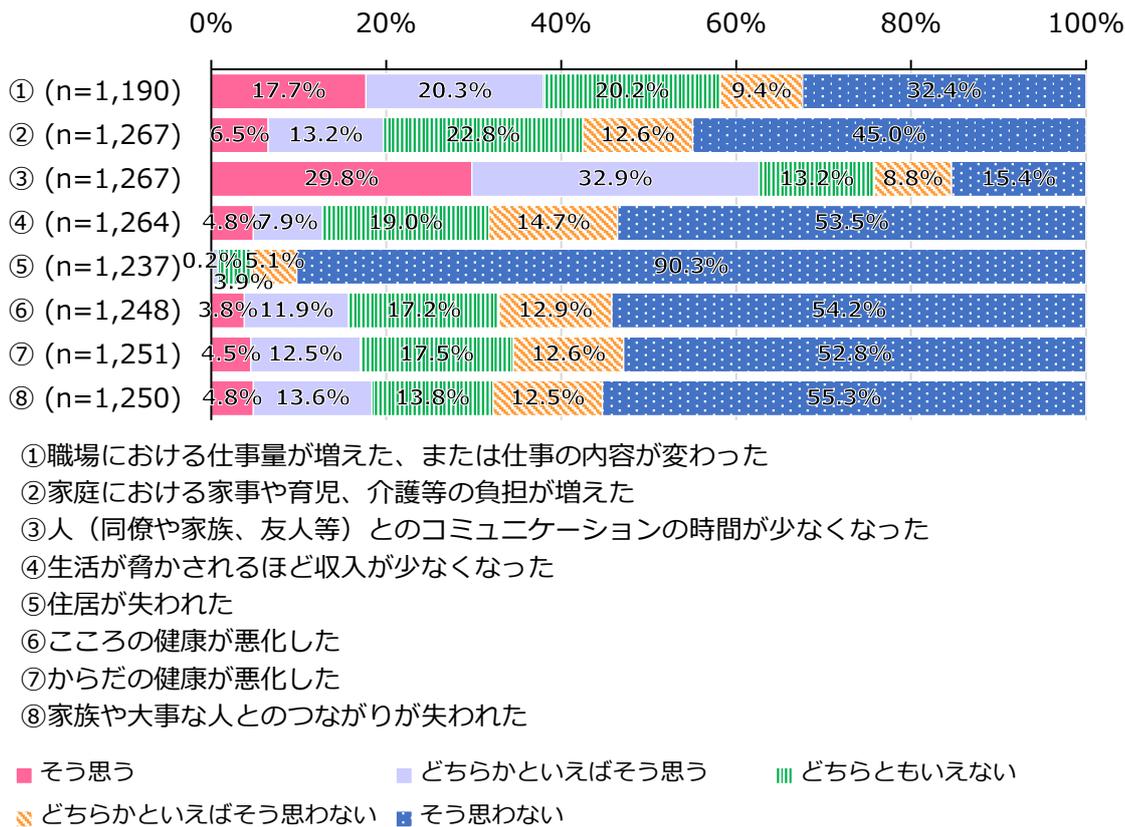
図 17 悩んでいる人や自殺に傾いている人への対応（質問 17）



- ①悩んでいる人をねぎらう
- ②悩んでいる人に心配していることを伝える
- ③悩んでいる人の話をじっくり聴く
- ④悩んでいる人に自殺を考えているかたずねる
- ⑤悩んでいる人に相談先を紹介する
- ⑥自分で自分の心身の健康を管理する

■ 十分できる
 ■ すこしはできる
 ■ どちらともいえない
■ あまりできない
 ■ まったくできない

図 18 新型コロナウイルスへの日常生活への影響（質問 20）



- ① 職場における仕事量が増えた、または仕事の内容が変わった
- ② 家庭における家事や育児、介護等の負担が増えた
- ③ 人（同僚や家族、友人等）とのコミュニケーションの時間が少なくなった
- ④ 生活が脅かされるほど収入が少なくなった
- ⑤ 住居が失われた
- ⑥ こころの健康が悪化した
- ⑦ からだの健康が悪化した
- ⑧ 家族や大事な人とのつながりが失われた

図 19 精神的健康の悪化（質問 7）の有無別の悩み・ストレスの主たる相談相手（質問 4）

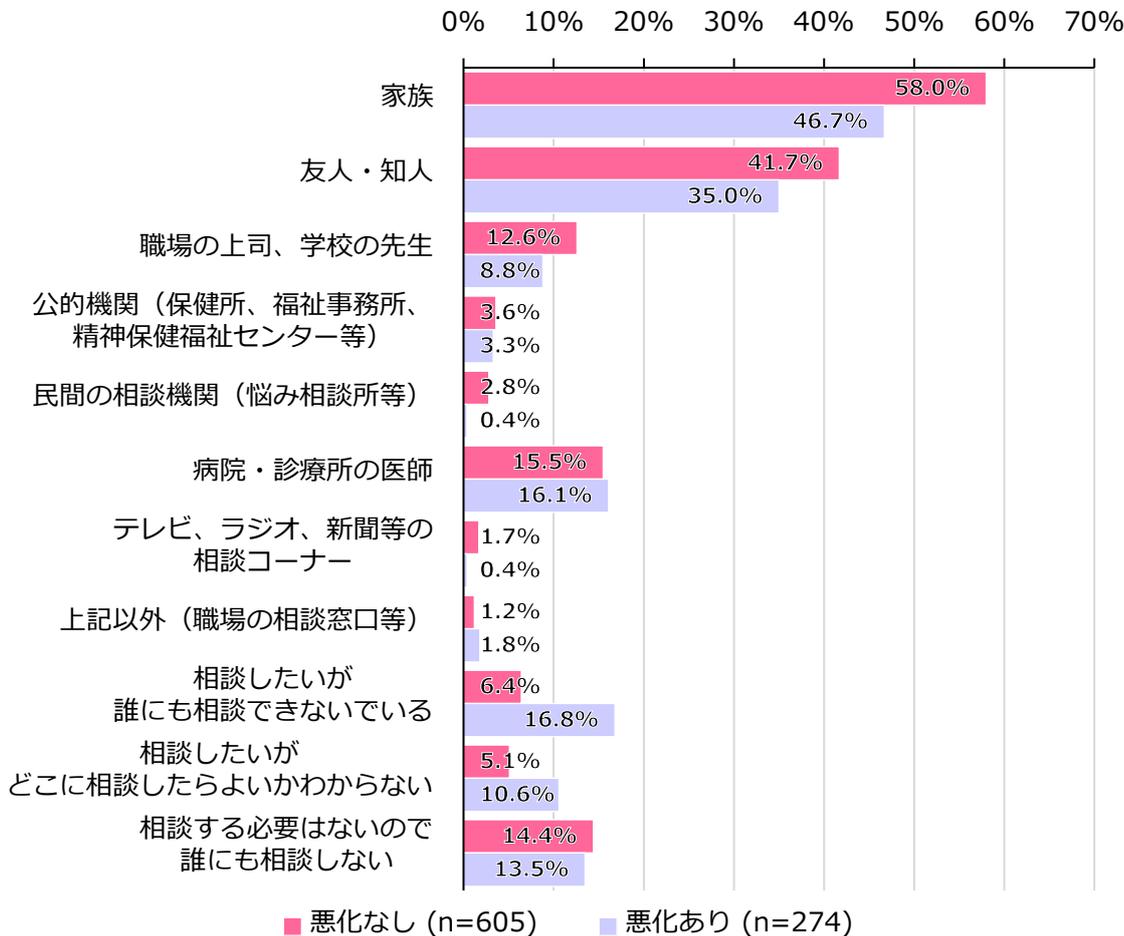
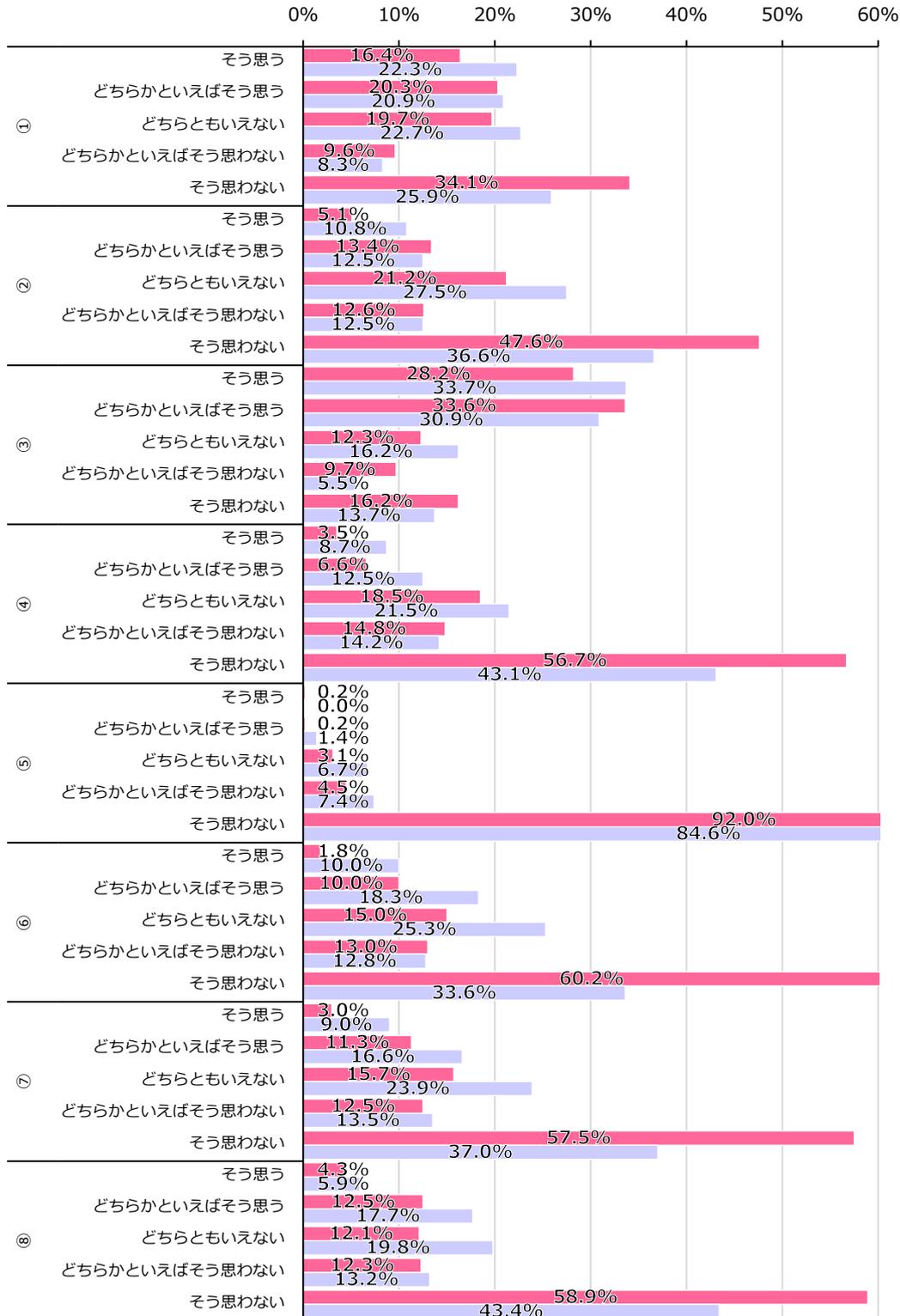


図 20 精神的健康の悪化（質問 7）の有無別の新型コロナウイルスの日常生活への影響（質問 20）



- ①職場における仕事量が増えた、または仕事の内容が変わった
- ②家庭における家事や育児、介護等の負担が増えた
- ③人（同僚や家族、友人等）とのコミュニケーションの時間が少なくなった
- ④生活が脅かされるほど収入が少なくなった
- ⑤住居が失われた
- ⑥こころの健康が悪化した
- ⑦からだの健康が悪化した
- ⑧家族や大事な人とのつながりが失われた

■ 悪化なし ■ 悪化あり

表1 回答者の性別・年齢（質問21）

	男性	女性	全市
	n (%)	n (%)	n (%)
20-29 歳	40 (7.3)	75 (10.3)	116 (9.0)
30-39 歳	74 (13.4)	107 (14.7)	182 (14.2)
40-49 歳	74 (13.4)	119 (16.4)	194 (15.1)
50-59 歳	89 (16.2)	130 (17.9)	222 (17.3)
60-69 歳	125 (22.7)	140 (19.3)	265 (20.6)
70-79 歳	149 (27.0)	155 (21.3)	305 (23.8)
回答者総数	551 (100)	726 (100)	1,284 (100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。
 性別、年齢のいずれかの情報が欠損の者は集計から除外した。
 性別が「その他」の者は度数が小さいため、総数にのみ含めた。

資料編

資料 1…調査結果分析データ

資料 2…調査票

資料 1

回答者の性別・年齢

	男性		女性		全市	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)
20-29 歳	40	(7.3)	75	(10.3)	116	(9.0)
30-39 歳	74	(13.4)	107	(14.7)	182	(14.2)
40-49 歳	74	(13.4)	119	(16.4)	194	(15.1)
50-59 歳	89	(16.2)	130	(17.9)	222	(17.3)
60-69 歳	125	(22.7)	140	(19.3)	265	(20.6)
70-79 歳	149	(27.0)	155	(21.3)	305	(23.8)
回答者総数	551	(100)	726	(100)	1,284	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。
性別・年齢のいずれかの情報が欠損の者は集計から除外した。
個人属性であるため、度数が小さい性別がその他の者は総数にのみ含めた。

質問 1. こころの健康への関心

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
高い関心がある	53	(31.4)	51	(26.8)	64	(33.3)	60	(32.4)	42	(24.7)	62	(34.4)	59	(29.2)	391	(30.4)
やや関心がある	75	(44.4)	99	(52.1)	93	(48.4)	89	(48.1)	96	(56.5)	77	(42.8)	99	(49.0)	628	(48.8)
どちらともいえない	17	(10.1)	23	(12.1)	16	(8.3)	15	(8.1)	17	(10.0)	22	(12.2)	28	(13.9)	138	(10.7)
あまり関心がな	15	(8.9)	13	(6.8)	13	(6.8)	19	(10.3)	12	(7.1)	17	(9.4)	8	(4.0)	97	(7.5)
い																
ほとんど関心が	9	(5.3)	4	(2.1)	6	(3.1)	2	(1.1)	3	(1.8)	2	(1.1)	8	(4.0)	34	(2.6)
ない																
回答者総数	169	(100)	190	(100)	192	(100)	185	(100)	170	(100)	180	(100)	202	(100)	1,288	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 2. 悩みやストレスの有無

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
ある	112	(67.1)	134	(70.2)	146	(76.4)	125	(67.2)	112	(65.5)	140	(77.8)	132	(65.0)	901	(69.9)
ない	55	(32.9)	57	(29.8)	45	(23.6)	61	(32.8)	59	(34.5)	40	(22.2)	71	(35.0)	388	(30.1)
回答者総数	167	(100)	191	(100)	191	(100)	186	(100)	171	(100)	180	(100)	203	(100)	1,289	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 3. 日常生活での悩みやストレスの内容

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)														
家族との人間関係	27	(24.1)	32	(23.9)	39	(26.9)	27	(21.8)	27	(24.1)	40	(28.6)	33	(25.0)	225	(25.0)
家族以外との人間関係	30	(26.8)	29	(21.6)	37	(25.5)	27	(21.8)	24	(21.4)	32	(22.9)	25	(18.9)	204	(22.7)
恋愛・性に関すること																
結婚	9	(8.0)	7	(5.2)	8	(5.5)	5	(4.0)	6	(5.4)	12	(8.6)	4	(3.0)	51	(5.7)
離婚	4	(3.6)	1	(0.7)	3	(2.1)	2	(1.6)	4	(3.6)	1	(0.7)	2	(1.5)	17	(1.9)
いじめ・セクシュアル・ハラスメント	1	(0.9)	7	(5.2)	2	(1.4)	8	(6.5)	0	(0.0)	3	(2.1)	1	(0.8)	22	(2.4)
生きがいに関すること																
自由のできる時間がないこと	12	(10.7)	13	(9.7)	22	(15.2)	16	(12.9)	14	(12.5)	15	(10.7)	7	(5.3)	99	(11.0)
収入・家計・借金等																
自分の病気や介護	40	(35.7)	34	(25.4)	37	(25.5)	38	(30.6)	34	(30.4)	50	(35.7)	36	(27.3)	269	(29.9)
家族の病気や介護	32	(28.6)	34	(25.4)	34	(23.4)	33	(26.6)	34	(30.4)	48	(34.3)	36	(27.3)	251	(27.9)
妊娠・出産	6	(5.4)	6	(4.5)	7	(4.8)	6	(4.8)	1	(0.9)	5	(3.6)	6	(4.5)	37	(4.1)
育児	12	(10.7)	15	(11.2)	15	(10.3)	12	(9.7)	7	(6.3)	14	(10.0)	12	(9.1)	87	(9.7)
家事	11	(9.8)	11	(8.2)	18	(12.4)	18	(14.5)	14	(12.5)	15	(10.7)	12	(9.1)	99	(11.0)
自分の学業・受験・進学	3	(2.7)	4	(3.0)	9	(6.2)	5	(4.0)	5	(4.5)	1	(0.7)	2	(1.5)	29	(3.2)
子どもの教育	18	(16.1)	19	(14.2)	18	(12.4)	17	(13.7)	10	(8.9)	24	(17.1)	18	(13.6)	124	(13.8)
自分の仕事	45	(40.2)	66	(49.3)	70	(48.3)	68	(54.8)	50	(44.6)	65	(46.4)	62	(47.0)	426	(47.4)
家族の仕事	13	(11.6)	15	(11.2)	11	(7.6)	12	(9.7)	15	(13.4)	17	(12.1)	9	(6.8)	92	(10.2)
住まいや生活環境 (公害、安全及び交通事情を含む)																
その他	7	(6.3)	9	(6.7)	6	(4.1)	11	(8.9)	15	(13.4)	12	(8.6)	13	(9.8)	73	(8.1)
わからない	1	(0.9)	1	(0.7)	1	(0.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.8)	4	(0.4)
回答者総数	112	(100)	134	(100)	145	(100)	124	(100)	112	(100)	140	(100)	132	(100)	899	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 3-1. 最も気になる悩みやストレスの原因

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)														
家族との人間関係	10	(9.4)	9	(6.8)	9	(6.4)	10	(8.4)	10	(9.2)	10	(7.4)	15	(11.8)	73	(8.4)
家族以外との人間関係	7	(6.6)	9	(6.8)	9	(6.4)	4	(3.4)	3	(2.8)	7	(5.2)	4	(3.1)	43	(4.9)
恋愛・性に関すること	1	(0.9)	1	(0.8)	1	(0.7)	2	(1.7)	1	(0.9)	0	(0.0)	0	(0.0)	6	(0.7)
結婚	1	(0.9)	2	(1.5)	1	(0.7)	1	(0.8)	0	(0.0)	1	(0.7)	1	(0.8)	7	(0.8)
離婚	0	(0.0)	1	(0.8)	1	(0.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.7)	0	(0.0)	3	(0.3)
いじめ・セクシュアル・ハラスメント	0	(0.0)	1	(0.8)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(2.2)	0	(0.0)	4	(0.5)
生きがいに関すること	4	(3.8)	10	(7.6)	11	(7.8)	5	(4.2)	9	(8.3)	9	(6.7)	5	(3.9)	53	(6.1)
自由のできる時間がないこと	4	(3.8)	3	(2.3)	7	(5.0)	7	(5.9)	3	(2.8)	3	(2.2)	3	(2.4)	30	(3.5)
収入・家計・借金等	23	(21.7)	23	(17.4)	23	(16.3)	28	(23.5)	17	(15.6)	27	(20.0)	12	(9.4)	153	(17.6)
自分の病気や介護	11	(10.4)	12	(9.1)	15	(10.6)	12	(10.1)	14	(12.8)	20	(14.8)	16	(12.6)	100	(11.5)
家族の病気や介護	10	(9.4)	15	(11.4)	13	(9.2)	7	(5.9)	13	(11.9)	12	(8.9)	16	(12.6)	86	(9.9)
妊娠・出産	1	(0.9)	2	(1.5)	6	(4.3)	2	(1.7)	0	(0.0)	1	(0.7)	3	(2.4)	15	(1.7)
育児	3	(2.8)	2	(1.5)	6	(4.3)	2	(1.7)	0	(0.0)	2	(1.5)	4	(3.1)	19	(2.2)
家事	0	(0.0)	1	(0.8)	0	(0.0)	2	(1.7)	1	(0.9)	0	(0.0)	1	(0.8)	5	(0.6)
自分の学業・受験・進学	1	(0.9)	0	(0.0)	3	(2.1)	3	(2.5)	1	(0.9)	0	(0.0)	0	(0.0)	8	(0.9)
子どもの教育	2	(1.9)	2	(1.5)	0	(0.0)	3	(2.5)	2	(1.8)	5	(3.7)	2	(1.6)	16	(1.8)
自分の仕事	17	(16.0)	25	(18.9)	28	(19.9)	21	(17.6)	22	(20.2)	21	(15.6)	24	(18.9)	158	(18.2)
家族の仕事	3	(2.8)	3	(2.3)	0	(0.0)	1	(0.8)	4	(3.7)	2	(1.5)	3	(2.4)	16	(1.8)
住まいや生活環境（公害、安全及び交通事情を含む）	3	(2.8)	7	(5.3)	4	(2.8)	3	(2.5)	2	(1.8)	3	(2.2)	8	(6.3)	30	(3.5)
その他	5	(4.7)	4	(3.0)	4	(2.8)	6	(5.0)	7	(6.4)	8	(5.9)	10	(7.9)	44	(5.1)
回答者総数	106	(100)	132	(100)	141	(100)	119	(100)	109	(100)	135	(100)	127	(100)	869	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 4. 悩み・ストレスに関する相談先・相談相手

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)														
家族	62	(56.9)	68	(51.9)	78	(54.2)	66	(53.2)	56	(50.0)	77	(55.4)	73	(55.7)	480	(53.9)
友人・知人	42	(38.5)	46	(35.1)	60	(41.7)	47	(37.9)	44	(39.3)	55	(39.6)	54	(41.2)	348	(39.1)
職場の上司、学校の先生	12	(11.0)	14	(10.7)	19	(13.2)	10	(8.1)	11	(9.8)	21	(15.1)	12	(9.2)	99	(11.1)
公的機関（保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等）	8	(7.3)	3	(2.3)	8	(5.6)	1	(0.8)	3	(2.7)	3	(2.2)	6	(4.6)	32	(3.6)
民間の相談機関（悩み相談所等）	1	(0.9)	4	(3.1)	6	(4.2)	1	(0.8)	1	(0.9)	2	(1.4)	3	(2.3)	18	(2.0)
病院・診療所の医師	20	(18.3)	20	(15.3)	19	(13.2)	16	(12.9)	22	(19.6)	27	(19.4)	20	(15.3)	144	(16.2)
テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナー	0	(0.0)	2	(1.5)	3	(2.1)	1	(0.8)	1	(0.9)	1	(0.7)	3	(2.3)	11	(1.2)
上記以外（職場の相談窓口等）	1	(0.9)	4	(3.1)	0	(0.0)	2	(1.6)	1	(0.9)	4	(2.9)	0	(0.0)	12	(1.3)
相談したいが誰にも相談できないでいる	8	(7.3)	16	(12.2)	13	(9.0)	19	(15.3)	5	(4.5)	15	(10.8)	11	(8.4)	87	(9.8)
相談したいがどこに相談したらよいかわからない	6	(5.5)	8	(6.1)	9	(6.3)	12	(9.7)	5	(4.5)	11	(7.9)	11	(8.4)	62	(7.0)
相談する必要はないので誰にも相談しない	17	(15.6)	20	(15.3)	22	(15.3)	17	(13.7)	23	(20.5)	15	(10.8)	15	(11.5)	129	(14.5)
回答者総数	109	(100)	131	(100)	144	(100)	124	(100)	112	(100)	139	(100)	131	(100)	890	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 4-1. 最も気になる悩み・ストレスに関する相談先・相談相手

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
家族	56	(74.7)	60	(70.6)	64	(64.6)	54	(71.1)	46	(58.2)	63	(70.0)	61	(67.8)	404	(68.0)
友人・知人	26	(34.7)	35	(41.2)	45	(45.5)	32	(42.1)	33	(41.8)	35	(38.9)	40	(44.4)	246	(41.4)
職場の上司、学校の先生	4	(5.3)	12	(14.1)	7	(7.1)	5	(6.6)	9	(11.4)	11	(12.2)	5	(5.6)	53	(8.9)
公的機関（保健所、福祉 事務所、精神保健福祉セ ンター等）	5	(6.7)	1	(1.2)	6	(6.1)	1	(1.3)	2	(2.5)	1	(1.1)	3	(3.3)	19	(3.2)
民間の相談機関（悩み相 談所等）	0	(0.0)	2	(2.4)	3	(3.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(1.1)	2	(2.2)	8	(1.3)
病院・診療所の医師	11	(14.7)	12	(14.1)	12	(12.1)	10	(13.2)	17	(21.5)	17	(18.9)	17	(18.9)	96	(16.2)
テレビ、ラジオ、新聞等 の相談コーナー	0	(0.0)	2	(2.4)	1	(1.0)	1	(1.3)	0	(0.0)	1	(1.1)	2	(2.2)	7	(1.2)
上記以外（職場の相談窓 口等）	1	(1.3)	4	(4.7)	0	(0.0)	2	(2.6)	1	(1.3)	3	(3.3)	0	(0.0)	11	(1.9)
回答者総数	75	(100)	85	(100)	99	(100)	76	(100)	79	(100)	90	(100)	90	(100)	594	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 5. 「人に話を聞いてもらう」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
よくする	33	(20.5)	45	(24.9)	42	(22.8)	52	(29.7)	40	(24.4)	52	(30.4)	45	(23.8)	309	(25.2)
ときどきする	75	(46.6)	73	(40.3)	86	(46.7)	67	(38.3)	69	(42.1)	77	(45.0)	90	(47.6)	537	(43.8)
あまりしない	34	(21.1)	49	(27.1)	48	(26.1)	39	(22.3)	41	(25.0)	28	(16.4)	45	(23.8)	284	(23.2)
まったくしない	19	(11.8)	14	(7.7)	8	(4.3)	17	(9.7)	14	(8.5)	14	(8.2)	9	(4.8)	95	(7.8)
回答者総数	161	(100)	181	(100)	184	(100)	175	(100)	164	(100)	171	(100)	189	(100)	1,225	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 5. 「睡眠をとる」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
よくする	77	(48.4)	83	(46.4)	93	(52.0)	81	(47.1)	83	(50.9)	84	(50.3)	96	(52.2)	597	(49.6)
ときどきする	49	(30.8)	55	(30.7)	57	(31.8)	57	(33.1)	52	(31.9)	49	(29.3)	56	(30.4)	375	(31.2)
あまりしない	27	(17.0)	33	(18.4)	27	(15.1)	22	(12.8)	23	(14.1)	29	(17.4)	25	(13.6)	186	(15.5)
まったくしない	6	(3.8)	8	(4.5)	2	(1.1)	12	(7.0)	5	(3.1)	5	(3.0)	7	(3.8)	45	(3.7)
回答者総数	159	(100)	179	(100)	179	(100)	172	(100)	163	(100)	167	(100)	184	(100)	1,203	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 5. 「お酒を飲む」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
よくする	33	(21.2)	36	(19.9)	41	(22.4)	33	(19.1)	29	(17.6)	24	(14.4)	34	(18.0)	230	(18.9)
ときどきする	31	(19.9)	39	(21.5)	43	(23.5)	38	(22.0)	36	(21.8)	31	(18.6)	49	(25.9)	267	(22.0)
あまりしない	22	(14.1)	35	(19.3)	26	(14.2)	29	(16.8)	35	(21.2)	34	(20.4)	27	(14.3)	208	(17.1)
まったくしない	70	(44.9)	71	(39.2)	73	(39.9)	73	(42.2)	65	(39.4)	78	(46.7)	79	(41.8)	509	(41.9)
回答者総数	156	(100)	181	(100)	183	(100)	173	(100)	165	(100)	167	(100)	189	(100)	1,214	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 5. 「運動する」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
よくする	34	(21.5)	31	(17.4)	35	(19.1)	31	(18.1)	32	(19.3)	34	(20.2)	31	(16.5)	228	(18.8)
ときどきする	41	(25.9)	52	(29.2)	54	(29.5)	50	(29.2)	52	(31.3)	49	(29.2)	69	(36.7)	367	(30.3)
あまりしない	54	(34.2)	59	(33.1)	58	(31.7)	52	(30.4)	51	(30.7)	56	(33.3)	65	(34.6)	395	(32.6)
まったくしない	29	(18.4)	36	(20.2)	36	(19.7)	38	(22.2)	31	(18.7)	29	(17.3)	23	(12.2)	222	(18.3)
回答者総数	158	(100)	178	(100)	183	(100)	171	(100)	166	(100)	168	(100)	188	(100)	1,212	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 5. 「趣味やレジャーをする」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
よくする	47	(29.4)	53	(29.1)	44	(24.0)	53	(30.3)	54	(31.8)	45	(26.5)	58	(30.2)	354	(28.7)
ときどきする	72	(45.0)	74	(40.7)	88	(48.1)	78	(44.6)	74	(43.5)	74	(43.5)	93	(48.4)	553	(44.9)
あまりしない	27	(16.9)	34	(18.7)	33	(18.0)	29	(16.6)	30	(17.6)	39	(22.9)	29	(15.1)	221	(17.9)
まったくしない	14	(8.8)	21	(11.5)	18	(9.8)	15	(8.6)	12	(7.1)	12	(7.1)	12	(6.3)	104	(8.4)
回答者総数	160	(100)	182	(100)	183	(100)	175	(100)	170	(100)	170	(100)	192	(100)	1,232	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 5. 「我慢して時間が経つのを待つ」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
よくする	37	(23.1)	39	(21.9)	29	(15.8)	28	(16.4)	29	(17.8)	36	(22.1)	24	(13.0)	222	(18.5)
ときどきする	41	(25.6)	63	(35.4)	72	(39.3)	61	(35.7)	63	(38.7)	59	(36.2)	70	(37.8)	429	(35.7)
あまりしない	45	(28.1)	55	(30.9)	60	(32.8)	46	(26.9)	39	(23.9)	42	(25.8)	53	(28.6)	340	(28.3)
まったくしない	37	(23.1)	21	(11.8)	22	(12.0)	36	(21.1)	32	(19.6)	26	(16.0)	38	(20.5)	212	(17.6)
回答者総数	160	(100)	178	(100)	183	(100)	171	(100)	163	(100)	163	(100)	185	(100)	1,203	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 6. K6 質問票

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
心理的苦痛なし (K6：12点以下)	149	(90.3)	169	(90.4)	172	(93.0)	149	(84.7)	152	(89.4)	149	(86.6)	180	(92.3)	1,120	(89.6)
心理的苦痛あり (K6：13点以上)	16	(9.7)	18	(9.6)	13	(7.0)	27	(15.3)	18	(10.6)	23	(13.4)	15	(7.7)	130	(10.4)
回答者総数	165	(100)	187	(100)	185	(100)	176	(100)	170	(100)	172	(100)	195	(100)	1,250	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 7. WHO-5 精神健康状態表簡易版 (S-WHO-5-J)

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
精神的健康の悪 化なし (S-WHO-5-J：6点以上)	120	(72.7)	146	(78.1)	144	(76.6)	133	(74.7)	129	(75.9)	134	(77.9)	155	(78.3)	961	(76.4)
精神的健康の悪 化あり (S-WHO-5-J：5点以下)	45	(27.3)	41	(21.9)	44	(23.4)	45	(25.3)	41	(24.1)	38	(22.1)	43	(21.7)	297	(23.6)
回答者総数	165	(100)	187	(100)	188	(100)	178	(100)	170	(100)	172	(100)	198	(100)	1,258	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 8. 「自分は幸福である」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	44	(27.0)	50	(26.5)	45	(23.9)	49	(27.2)	58	(34.1)	42	(24.0)	64	(32.2)	352	(27.8)
どちらかといえば そう思う	75	(46.0)	95	(50.3)	103	(54.8)	79	(43.9)	73	(42.9)	89	(50.9)	104	(52.3)	618	(48.9)
どちらともいえない	35	(21.5)	30	(15.9)	31	(16.5)	37	(20.6)	25	(14.7)	28	(16.0)	17	(8.5)	203	(16.1)
い																
どちらかといえば そう思わない	5	(3.1)	8	(4.2)	5	(2.7)	10	(5.6)	8	(4.7)	12	(6.9)	9	(4.5)	57	(4.5)
そう思わない	4	(2.5)	6	(3.2)	4	(2.1)	5	(2.8)	6	(3.5)	4	(2.3)	5	(2.5)	34	(2.7)
回答者総数	163	(100)	189	(100)	188	(100)	180	(100)	170	(100)	175	(100)	199	(100)	1,264	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 8. 「一般的に人は信頼できる」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	16	(9.9)	18	(9.6)	20	(10.6)	13	(7.4)	23	(13.5)	23	(13.1)	22	(11.1)	135	(10.7)
どちらかといえば そう思う	70	(43.2)	77	(41.0)	96	(51.1)	77	(43.8)	72	(42.4)	75	(42.9)	109	(55.1)	576	(45.8)
どちらともいえない	55	(34.0)	65	(34.6)	54	(28.7)	55	(31.3)	53	(31.2)	53	(30.3)	44	(22.2)	379	(30.2)
い																
どちらかといえば そう思わない	17	(10.5)	15	(8.0)	16	(8.5)	23	(13.1)	14	(8.2)	17	(9.7)	13	(6.6)	115	(9.1)
そう思わない	4	(2.5)	13	(6.9)	2	(1.1)	8	(4.5)	8	(4.7)	7	(4.0)	10	(5.1)	52	(4.1)
回答者総数	162	(100)	188	(100)	188	(100)	176	(100)	170	(100)	175	(100)	198	(100)	1,257	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 8. 「地域の人を信頼できる」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	6	(3.8)	15	(7.9)	10	(5.3)	10	(5.7)	15	(8.8)	18	(10.3)	16	(8.0)	90	(7.2)
どちらかといえばそ う思う	42	(26.3)	53	(28.0)	80	(42.6)	50	(28.6)	64	(37.6)	53	(30.3)	85	(42.7)	427	(34.0)
どちらともいえない	86	(53.8)	93	(49.2)	78	(41.5)	85	(48.6)	64	(37.6)	78	(44.6)	75	(37.7)	559	(44.5)
どちらかといえばそ う思わない	17	(10.6)	16	(8.5)	14	(7.4)	13	(7.4)	15	(8.8)	15	(8.6)	12	(6.0)	102	(8.1)
そう思わない	9	(5.6)	12	(6.3)	6	(3.2)	17	(9.7)	12	(7.1)	11	(6.3)	11	(5.5)	78	(6.2)
回答者総数	160	(100)	189	(100)	188	(100)	175	(100)	170	(100)	175	(100)	199	(100)	1,256	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 8. 「地域の人は、多くの場合、他の人の役に立とうとする」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	5	(3.1)	12	(6.3)	11	(5.9)	8	(4.5)	15	(8.9)	15	(8.6)	7	(3.5)	73	(5.8)
どちらかといえばそ う思う	35	(21.5)	47	(24.7)	62	(33.2)	44	(25.0)	48	(28.4)	45	(25.7)	62	(31.3)	343	(27.3)
どちらともいえない	82	(50.3)	91	(47.9)	85	(45.5)	91	(51.7)	84	(49.7)	86	(49.1)	97	(49.0)	616	(49.0)
どちらかといえばそ う思わない	33	(20.2)	28	(14.7)	23	(12.3)	23	(13.1)	8	(4.7)	17	(9.7)	20	(10.1)	152	(12.1)
そう思わない	8	(4.9)	12	(6.3)	6	(3.2)	10	(5.7)	14	(8.3)	12	(6.9)	12	(6.1)	74	(5.9)
回答者総数	163	(100)	190	(100)	187	(100)	176	(100)	169	(100)	175	(100)	198	(100)	1,258	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 8. 「この地域の役に立ちたい」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	10	(6.1)	16	(8.4)	19	(10.1)	12	(6.8)	18	(10.6)	21	(11.9)	24	(12.1)	120	(9.5)
どちらかといえ ばそう思う	46	(28.2)	69	(36.3)	65	(34.6)	57	(32.2)	59	(34.7)	66	(37.5)	76	(38.4)	438	(34.7)
どちらともいえ ない	70	(42.9)	73	(38.4)	74	(39.4)	75	(42.4)	73	(42.9)	65	(36.9)	79	(39.9)	509	(40.3)
どちらかといえ ばそう思わない	26	(16.0)	16	(8.4)	25	(13.3)	15	(8.5)	8	(4.7)	15	(8.5)	10	(5.1)	115	(9.1)
そう思わない	11	(6.7)	16	(8.4)	5	(2.7)	18	(10.2)	12	(7.1)	9	(5.1)	9	(4.5)	80	(6.3)
回答者総数	163	(100)	190	(100)	188	(100)	177	(100)	170	(100)	176	(100)	198	(100)	1,262	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 8. 「この地域の一員である実感できる」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	10	(6.3)	10	(5.3)	12	(6.3)	12	(6.8)	15	(8.8)	12	(6.9)	15	(7.6)	86	(6.8)
どちらかといえ ばそう思う	38	(23.8)	45	(23.7)	46	(24.3)	22	(12.5)	41	(24.1)	45	(25.7)	49	(24.7)	286	(22.7)
どちらともいえ ない	55	(34.4)	74	(38.9)	74	(39.2)	87	(49.4)	68	(40.0)	73	(41.7)	89	(44.9)	520	(41.3)
どちらかといえ ばそう思わない	35	(21.9)	37	(19.5)	43	(22.8)	35	(19.9)	27	(15.9)	28	(16.0)	28	(14.1)	233	(18.5)
そう思わない	22	(13.8)	24	(12.6)	14	(7.4)	20	(11.4)	19	(11.2)	17	(9.7)	17	(8.6)	133	(10.6)
回答者総数	160	(100)	190	(100)	189	(100)	176	(100)	170	(100)	175	(100)	198	(100)	1,258	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 8. 「この地域の中でのつながりを大事にしたい」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	17	(10.5)	17	(8.9)	19	(10.1)	21	(11.7)	24	(14.1)	25	(14.0)	26	(13.1)	149	(11.8)
どちらかといえば そう思う	53	(32.7)	73	(38.4)	74	(39.2)	63	(35.2)	61	(35.9)	63	(35.4)	86	(43.4)	473	(37.4)
どちらともいえない	59	(36.4)	63	(33.2)	72	(38.1)	62	(34.6)	63	(37.1)	62	(34.8)	57	(28.8)	438	(34.6)
い																
どちらかといえば そう思わない	20	(12.3)	22	(11.6)	18	(9.5)	21	(11.7)	16	(9.4)	14	(7.9)	17	(8.6)	128	(10.1)
そう思わない	13	(8.0)	15	(7.9)	6	(3.2)	12	(6.7)	6	(3.5)	14	(7.9)	12	(6.1)	78	(6.2)
回答者総数	162	(100)	190	(100)	189	(100)	179	(100)	170	(100)	178	(100)	198	(100)	1,266	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 8. 「今後もこの地域に住み続けたい」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	46	(27.9)	52	(27.4)	46	(24.2)	50	(28.1)	43	(25.3)	49	(27.7)	57	(28.6)	343	(27.0)
どちらかといえば そう思う	59	(35.8)	57	(30.0)	84	(44.2)	66	(37.1)	57	(33.5)	53	(29.9)	75	(37.7)	451	(35.5)
どちらともいえない	39	(23.6)	59	(31.1)	51	(26.8)	44	(24.7)	58	(34.1)	57	(32.2)	47	(23.6)	355	(28.0)
い																
どちらかといえば そう思わない	11	(6.7)	13	(6.8)	5	(2.6)	8	(4.5)	6	(3.5)	11	(6.2)	9	(4.5)	63	(5.0)
そう思わない	10	(6.1)	9	(4.7)	4	(2.1)	10	(5.6)	6	(3.5)	7	(4.0)	11	(5.5)	57	(4.5)
回答者総数	165	(100)	190	(100)	190	(100)	178	(100)	170	(100)	177	(100)	199	(100)	1,269	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 9. 過去 1 年間の行事・活動への参加

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
スポーツ関係 のグループや クラブ	26	(15.9)	28	(14.7)	33	(17.5)	20	(10.9)	30	(17.6)	28	(15.6)	37	(18.4)	202	(15.8)
趣味関係のグ ループ	33	(20.1)	39	(20.4)	46	(24.3)	39	(21.3)	48	(28.2)	36	(20.0)	50	(24.9)	291	(22.8)
ボランティア のグループ	7	(4.3)	12	(6.3)	6	(3.2)	9	(4.9)	14	(8.2)	9	(5.0)	12	(6.0)	69	(5.4)
町内会・自治 会	18	(11.0)	16	(8.4)	21	(11.1)	22	(12.0)	14	(8.2)	20	(11.1)	29	(14.4)	140	(11.0)
老人クラブ	3	(1.8)	5	(2.6)	2	(1.1)	4	(2.2)	1	(0.6)	4	(2.2)	4	(2.0)	23	(1.8)
地域の防災活 動	3	(1.8)	5	(2.6)	4	(2.1)	9	(4.9)	4	(2.4)	6	(3.3)	9	(4.5)	40	(3.1)
地域行事（祭 り・運動会・ 文化祭など）	16	(9.8)	23	(12.0)	19	(10.1)	16	(8.7)	18	(10.6)	18	(10.0)	19	(9.5)	129	(10.1)
業界団体・同 業者団体・労 働組合	4	(2.4)	2	(1.0)	8	(4.2)	4	(2.2)	2	(1.2)	6	(3.3)	8	(4.0)	34	(2.7)
市民運動・消 費者運動のグ ループ	2	(1.2)	2	(1.0)	2	(1.1)	2	(1.1)	0	(0.0)	1	(0.6)	2	(1.0)	11	(0.9)
宗教関係の団 体や会	6	(3.7)	7	(3.7)	2	(1.1)	7	(3.8)	4	(2.4)	8	(4.4)	8	(4.0)	42	(3.3)
政治関係の団 体や会	1	(0.6)	3	(1.6)	2	(1.1)	3	(1.6)	1	(0.6)	1	(0.6)	3	(1.5)	14	(1.1)
職場関係のグ ループや会	29	(17.7)	36	(18.8)	44	(23.3)	45	(24.6)	28	(16.5)	33	(18.3)	44	(21.9)	259	(20.3)
その他	0	(0.0)	4	(2.1)	2	(1.1)	2	(1.1)	4	(2.4)	5	(2.8)	6	(3.0)	23	(1.8)
参加していな い	81	(49.4)	90	(47.1)	84	(44.4)	85	(46.4)	79	(46.5)	77	(42.8)	85	(42.3)	581	(45.5)
回答者総数	164	(100)	191	(100)	189	(100)	183	(100)	170	(100)	180	(100)	201	(100)	1,278	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 10. 「心配事や悩み事を聞いてくれる人」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
いない	6	(3.6)	10	(5.3)	6	(3.2)	10	(5.6)	7	(4.1)	6	(3.4)	6	(3.0)	51	(4.0)
あまりいない	24	(14.4)	20	(10.5)	27	(14.4)	23	(12.8)	26	(15.3)	19	(10.7)	23	(11.6)	162	(12.7)
どちらともいえな い	12	(7.2)	17	(8.9)	20	(10.6)	18	(10.1)	15	(8.8)	16	(9.0)	16	(8.0)	114	(9.0)
すこしいる	98	(58.7)	125	(65.8)	117	(62.2)	107	(59.8)	98	(57.6)	122	(68.5)	135	(67.8)	802	(63.1)
たくさんいる	27	(16.2)	18	(9.5)	18	(9.6)	21	(11.7)	24	(14.1)	15	(8.4)	19	(9.5)	142	(11.2)
回答者総数	167	(100)	190	(100)	188	(100)	179	(100)	170	(100)	178	(100)	199	(100)	1,271	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 10. 「気を配ったり、思いやってくれる人」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
いない	6	(3.6)	10	(5.3)	1	(0.5)	9	(5.1)	3	(1.8)	5	(2.9)	4	(2.0)	38	(3.0)
あまりいない	13	(7.8)	15	(7.9)	22	(11.6)	16	(9.0)	18	(10.6)	12	(6.9)	15	(7.6)	111	(8.8)
どちらともいえな い	9	(5.4)	12	(6.3)	15	(7.9)	11	(6.2)	15	(8.8)	20	(11.4)	13	(6.6)	95	(7.5)
すこしいる	108	(65.1)	127	(67.2)	128	(67.4)	115	(65.0)	98	(57.6)	116	(66.3)	134	(68.0)	826	(65.3)
たくさんいる	30	(18.1)	25	(13.2)	24	(12.6)	26	(14.7)	36	(21.2)	22	(12.6)	31	(15.7)	194	(15.3)
回答者総数	166	(100)	189	(100)	190	(100)	177	(100)	170	(100)	175	(100)	197	(100)	1,264	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 10. 「ちょっとした用事や留守番を頼める人」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
いない	23	(13.9)	39	(20.5)	29	(15.5)	33	(18.8)	27	(15.8)	27	(15.4)	28	(14.2)	206	(16.3)
あまりいない	15	(9.1)	34	(17.9)	29	(15.5)	26	(14.8)	28	(16.4)	27	(15.4)	24	(12.2)	183	(14.5)
どちらともいえな い	22	(13.3)	28	(14.7)	30	(16.0)	15	(8.5)	19	(11.1)	24	(13.7)	26	(13.2)	164	(13.0)
すこしいる	90	(54.5)	81	(42.6)	85	(45.5)	88	(50.0)	81	(47.4)	88	(50.3)	111	(56.3)	624	(49.5)
たくさんいる	15	(9.1)	8	(4.2)	14	(7.5)	14	(8.0)	16	(9.4)	9	(5.1)	8	(4.1)	84	(6.7)
回答者総数	165	(100)	190	(100)	187	(100)	176	(100)	171	(100)	175	(100)	197	(100)	1,261	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 10.「自宅で2～3日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
いない	11	(6.6)	30	(15.7)	19	(10.2)	18	(10.1)	16	(9.4)	22	(12.6)	13	(6.6)	129	(10.2)
あまりいない	17	(10.2)	26	(13.6)	16	(8.6)	20	(11.2)	20	(11.8)	20	(11.5)	21	(10.6)	140	(11.1)
どちらともいえな い	15	(9.0)	10	(5.2)	16	(8.6)	15	(8.4)	12	(7.1)	16	(9.2)	17	(8.6)	101	(8.0)
すこしいる	107	(64.5)	114	(59.7)	123	(66.1)	108	(60.7)	101	(59.4)	110	(63.2)	138	(69.7)	801	(63.4)
たくさんいる	16	(9.6)	11	(5.8)	12	(6.5)	17	(9.6)	21	(12.4)	6	(3.4)	9	(4.5)	92	(7.3)
回答者総数	166	(100)	191	(100)	186	(100)	178	(100)	170	(100)	174	(100)	198	(100)	1,263	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 10.「病院に入院したときに、看病したり、家のことを手伝ってくれる人」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
いない	13	(7.8)	26	(13.7)	15	(8.0)	17	(9.6)	11	(6.5)	23	(13.0)	11	(5.5)	116	(9.2)
あまりいない	13	(7.8)	27	(14.2)	18	(9.6)	22	(12.4)	23	(13.5)	20	(11.3)	19	(9.5)	142	(11.2)
どちらともいえな い	17	(10.2)	11	(5.8)	18	(9.6)	14	(7.9)	14	(8.2)	18	(10.2)	24	(12.1)	116	(9.2)
すこしいる	105	(63.3)	115	(60.5)	121	(64.7)	111	(62.7)	99	(58.2)	105	(59.3)	133	(66.8)	789	(62.3)
たくさんいる	18	(10.8)	11	(5.8)	15	(8.0)	13	(7.3)	23	(13.5)	11	(6.2)	12	(6.0)	103	(8.1)
回答者総数	166	(100)	190	(100)	187	(100)	177	(100)	170	(100)	177	(100)	199	(100)	1,266	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 11. 健康・生活状況が気になる周囲の人の有無

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
いる	101	(60.5)	117	(60.9)	111	(58.4)	106	(57.9)	105	(61.4)	117	(65.4)	126	(63.0)	783	(61.1)
いない	49	(29.3)	59	(30.7)	61	(32.1)	55	(30.1)	52	(30.4)	44	(24.6)	58	(29.0)	378	(29.5)
わからない	17	(10.2)	16	(8.3)	18	(9.5)	22	(12.0)	14	(8.2)	18	(10.1)	16	(8.0)	121	(9.4)
回答者総数	167	(100)	192	(100)	190	(100)	183	(100)	171	(100)	179	(100)	200	(100)	1,282	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 12. 健康・生活状況が気になる周囲の人への対応

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
とりあえず声をか けて話をきく	108	(67.5)	135	(74.6)	120	(65.6)	117	(67.6)	112	(67.9)	128	(73.6)	135	(69.9)	855	(69.6)
相談先を知ってい れば、話をきく	18	(11.3)	12	(6.6)	21	(11.5)	18	(10.4)	20	(12.1)	12	(6.9)	21	(10.9)	122	(9.9)
特に触れずそっと しておく	32	(20.0)	30	(16.6)	34	(18.6)	29	(16.8)	25	(15.2)	27	(15.5)	31	(16.1)	208	(16.9)
その他	2	(1.3)	4	(2.2)	8	(4.4)	9	(5.2)	8	(4.8)	7	(4.0)	6	(3.1)	44	(3.6)
回答者総数	160	(100)	181	(100)	183	(100)	173	(100)	165	(100)	174	(100)	193	(100)	1,229	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 13. 「こころの健康問題(精神疾患)は生活習慣病と同じように、誰もがかかりうる病気だ」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	90	(54.2)	103	(54.5)	104	(54.7)	111	(61.7)	93	(54.4)	107	(60.5)	124	(62.0)	732	(57.5)
どちらかといえ ばそう思う	48	(28.9)	54	(28.6)	57	(30.0)	49	(27.2)	63	(36.8)	47	(26.6)	55	(27.5)	373	(29.3)
どちらともいえ ない	21	(12.7)	23	(12.2)	23	(12.1)	14	(7.8)	10	(5.8)	14	(7.9)	9	(4.5)	114	(9.0)
どちらかといえ ばそう思わない	3	(1.8)	4	(2.1)	3	(1.6)	4	(2.2)	2	(1.2)	5	(2.8)	7	(3.5)	28	(2.2)
そう思わない	4	(2.4)	5	(2.6)	3	(1.6)	2	(1.1)	3	(1.8)	4	(2.3)	5	(2.5)	26	(2.0)
回答者総数	166	(100)	189	(100)	190	(100)	180	(100)	171	(100)	177	(100)	200	(100)	1,273	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 13. 「こころの健康問題(精神疾患)は早期に適切な治療や支援を受ければ、多くは改善する」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	62	(37.1)	63	(33.2)	78	(41.1)	62	(34.4)	63	(37.1)	74	(41.8)	71	(35.3)	473	(37.1)
どちらかといえ ばそう思う	59	(35.3)	75	(39.5)	67	(35.3)	61	(33.9)	67	(39.4)	61	(34.5)	85	(42.3)	475	(37.3)
どちらともいえ ない	42	(25.1)	41	(21.6)	39	(20.5)	47	(26.1)	33	(19.4)	30	(16.9)	33	(16.4)	265	(20.8)
どちらかといえ ばそう思わない	2	(1.2)	6	(3.2)	4	(2.1)	4	(2.2)	4	(2.4)	7	(4.0)	6	(3.0)	33	(2.6)
そう思わない	2	(1.2)	5	(2.6)	2	(1.1)	6	(3.3)	3	(1.8)	5	(2.8)	6	(3.0)	29	(2.3)
回答者総数	167	(100)	190	(100)	190	(100)	180	(100)	170	(100)	177	(100)	201	(100)	1,275	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 14. 「自殺を口にする人は実際に自殺するつもりはない」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	24	(14.4)	20	(10.7)	22	(11.6)	31	(17.2)	35	(20.6)	30	(17.1)	26	(12.9)	188	(14.8)
そう思わない	62	(37.1)	65	(34.8)	68	(36.0)	56	(31.1)	53	(31.2)	68	(38.9)	70	(34.8)	442	(34.8)
わからない	81	(48.5)	102	(54.5)	99	(52.4)	93	(51.7)	82	(48.2)	77	(44.0)	105	(52.2)	639	(50.4)
回答者総数	167	(100)	187	(100)	189	(100)	180	(100)	170	(100)	175	(100)	201	(100)	1,269	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 14. 「ほとんどの自殺は予兆なく突然に起こる」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	57	(34.3)	61	(32.6)	61	(32.3)	68	(37.4)	65	(38.0)	59	(33.9)	64	(31.7)	435	(34.2)
そう思わない	42	(25.3)	48	(25.7)	57	(30.2)	40	(22.0)	50	(29.2)	58	(33.3)	61	(30.2)	356	(28.0)
わからない	67	(40.4)	78	(41.7)	71	(37.6)	74	(40.7)	56	(32.7)	57	(32.8)	77	(38.1)	480	(37.8)
回答者総数	166	(100)	187	(100)	189	(100)	182	(100)	171	(100)	174	(100)	202	(100)	1,271	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 14. 「自殺の危機にある人は死ぬ決意をしている」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	46	(27.7)	46	(24.6)	52	(27.7)	41	(23.0)	37	(21.9)	47	(27.2)	41	(20.4)	310	(24.6)
そう思わない	29	(17.5)	32	(17.1)	42	(22.3)	42	(23.6)	42	(24.9)	36	(20.8)	44	(21.9)	267	(21.2)
わからない	91	(54.8)	109	(58.3)	94	(50.0)	95	(53.4)	90	(53.3)	90	(52.0)	116	(57.7)	685	(54.3)
回答者総数	166	(100)	187	(100)	188	(100)	178	(100)	169	(100)	173	(100)	201	(100)	1,262	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 14. 「自殺の危機にある人はその後ずっと自殺の危機から逃れられない」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	25	(15.2)	23	(12.3)	26	(13.8)	29	(16.2)	23	(13.5)	32	(18.5)	27	(13.4)	185	(14.6)
そう思わない	50	(30.3)	65	(34.8)	66	(35.1)	64	(35.8)	68	(40.0)	68	(39.3)	73	(36.3)	454	(35.9)
わからない	90	(54.5)	99	(52.9)	96	(51.1)	86	(48.0)	79	(46.5)	73	(42.2)	101	(50.2)	624	(49.4)
回答者総数	165	(100)	187	(100)	188	(100)	179	(100)	170	(100)	173	(100)	201	(100)	1,263	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 14. 「精神疾患のある人だけが自殺する」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	4	(2.4)	3	(1.6)	7	(3.7)	3	(1.7)	3	(1.8)	6	(3.4)	4	(2.0)	30	(2.4)
そう思わない	114	(68.7)	130	(69.5)	134	(71.3)	143	(79.9)	126	(74.1)	127	(72.6)	155	(77.1)	929	(73.4)
わからない	48	(28.9)	54	(28.9)	47	(25.0)	33	(18.4)	41	(24.1)	42	(24.0)	42	(20.9)	307	(24.2)
回答者総数	166	(100)	187	(100)	188	(100)	179	(100)	170	(100)	175	(100)	201	(100)	1,266	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 14. 「自殺の危機にある人と自殺について話すことはよくない。自殺を促しているようにとらえられるかもしれない」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	16	(9.6)	30	(16.0)	15	(8.0)	23	(12.8)	23	(13.5)	23	(13.3)	27	(13.4)	157	(12.4)
そう思わない	48	(28.9)	50	(26.7)	55	(29.3)	46	(25.7)	50	(29.4)	67	(38.7)	60	(29.7)	376	(29.7)
わからない	102	(61.4)	107	(57.2)	118	(62.8)	110	(61.5)	97	(57.1)	83	(48.0)	115	(56.9)	732	(57.9)
回答者総数	166	(100)	187	(100)	188	(100)	179	(100)	170	(100)	173	(100)	202	(100)	1,265	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 15. 社会全体で自殺対策に取り組む理由

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
すべての人にとって身近に存在する問題だから	103	(62.4)	112	(59.9)	115	(61.5)	116	(64.1)	100	(58.8)	118	(66.3)	127	(62.9)	791	(62.3)
自殺した人の家族や周囲に大きな悲しみや困難をもたらすから	114	(69.1)	125	(66.8)	121	(64.7)	113	(62.4)	105	(61.8)	116	(65.2)	144	(71.3)	838	(66.0)
社会全体にとって大きな損失になるから	41	(24.8)	54	(28.9)	49	(26.2)	44	(24.3)	44	(25.9)	50	(28.1)	63	(31.2)	345	(27.2)
様々な社会制度や慣行が多くの人を自殺に追い込んでいるから	54	(32.7)	66	(35.3)	62	(33.2)	70	(38.7)	63	(37.1)	70	(39.3)	76	(37.6)	461	(36.3)
自殺者を減らす取り組みは社会をよい方向に変えるから	66	(40.0)	87	(46.5)	85	(45.5)	82	(45.3)	74	(43.5)	78	(43.8)	102	(50.5)	574	(45.2)
自殺する人はかわいそうだから	18	(10.9)	22	(11.8)	28	(15.0)	18	(9.9)	22	(12.9)	18	(10.1)	22	(10.9)	148	(11.7)
その他	1	(0.6)	8	(4.3)	3	(1.6)	3	(1.7)	7	(4.1)	4	(2.2)	9	(4.5)	35	(2.8)
わからない	10	(6.1)	13	(7.0)	16	(8.6)	9	(5.0)	15	(8.8)	14	(7.9)	12	(5.9)	89	(7.0)
回答者総数	165	(100)	187	(100)	187	(100)	181	(100)	170	(100)	178	(100)	202	(100)	1,270	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 16. 『ゲートキーパー』の認知度

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
内容を知っている	6	(3.6)	4	(2.1)	6	(3.2)	3	(1.6)	2	(1.2)	6	(3.4)	6	(3.0)	33	(2.6)
聞いたことはある	20	(11.9)	16	(8.5)	19	(10.0)	24	(13.0)	18	(10.5)	30	(16.9)	30	(14.8)	157	(12.2)
知らない	142	(84.5)	169	(89.4)	165	(86.8)	157	(85.3)	151	(88.3)	142	(79.8)	167	(82.3)	1,093	(85.2)
回答者総数	168	(100)	189	(100)	190	(100)	184	(100)	171	(100)	178	(100)	203	(100)	1,283	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 17. 「悩んでいる人をねぎらう」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
十分できる	8	(4.8)	8	(4.3)	14	(7.4)	12	(6.6)	10	(5.9)	20	(11.6)	17	(8.5)	89	(7.1)
すこしはできる	87	(52.7)	97	(52.4)	105	(55.9)	94	(51.9)	89	(52.4)	87	(50.6)	114	(57.0)	673	(53.4)
どちらともいえない	40	(24.2)	41	(22.2)	39	(20.7)	40	(22.1)	44	(25.9)	37	(21.5)	39	(19.5)	280	(22.2)
い																
あまりできない	24	(14.5)	33	(17.8)	27	(14.4)	25	(13.8)	23	(13.5)	23	(13.4)	26	(13.0)	181	(14.4)
まったくできない	6	(3.6)	6	(3.2)	3	(1.6)	10	(5.5)	4	(2.4)	5	(2.9)	4	(2.0)	38	(3.0)
回答者総数	165	(100)	185	(100)	188	(100)	181	(100)	170	(100)	172	(100)	200	(100)	1,261	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 17. 「悩んでいる人に心配していることを伝える」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
十分できる	13	(7.9)	9	(4.9)	20	(10.6)	19	(10.7)	13	(7.7)	32	(18.7)	23	(11.4)	129	(10.3)
すこしはできる	94	(57.3)	102	(55.7)	108	(57.4)	91	(51.1)	98	(58.0)	91	(53.2)	126	(62.7)	710	(56.6)
どちらともいえない	37	(22.6)	47	(25.7)	39	(20.7)	37	(20.8)	42	(24.9)	31	(18.1)	31	(15.4)	264	(21.1)
い																
あまりできない	15	(9.1)	17	(9.3)	20	(10.6)	22	(12.4)	13	(7.7)	13	(7.6)	16	(8.0)	116	(9.3)
まったくできない	5	(3.0)	8	(4.4)	1	(0.5)	9	(5.1)	3	(1.8)	4	(2.3)	5	(2.5)	35	(2.8)
回答者総数	164	(100)	183	(100)	188	(100)	178	(100)	169	(100)	171	(100)	201	(100)	1,254	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 17. 「悩んでいる人の話をじっくり聴く」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
十分できる	23	(13.9)	25	(13.3)	32	(17.1)	27	(14.9)	21	(12.4)	38	(21.8)	43	(21.4)	209	(16.5)
すこしはできる	93	(56.0)	103	(54.8)	105	(56.1)	100	(55.2)	100	(59.2)	92	(52.9)	110	(54.7)	703	(55.5)
どちらともいえない	28	(16.9)	42	(22.3)	32	(17.1)	23	(12.7)	27	(16.0)	31	(17.8)	30	(14.9)	213	(16.8)
い																
あまりできない	18	(10.8)	11	(5.9)	15	(8.0)	24	(13.3)	18	(10.7)	10	(5.7)	15	(7.5)	111	(8.8)
まったくできない	4	(2.4)	7	(3.7)	3	(1.6)	7	(3.9)	3	(1.8)	3	(1.7)	3	(1.5)	30	(2.4)
回答者総数	166	(100)	188	(100)	187	(100)	181	(100)	169	(100)	174	(100)	201	(100)	1,266	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 17. 「悩んでいる人に自殺を考えているかたずねる」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
十分できる	2	(1.2)	0	(0.0)	6	(3.2)	4	(2.2)	3	(1.8)	4	(2.3)	3	(1.5)	22	(1.8)
すこしはできる	19	(11.5)	12	(6.5)	14	(7.5)	15	(8.4)	15	(8.8)	22	(12.9)	17	(8.5)	114	(9.1)
どちらともいえない	52	(31.5)	59	(31.7)	58	(31.0)	46	(25.8)	45	(26.5)	59	(34.5)	54	(27.0)	373	(29.7)
ない																
あまりできない	45	(27.3)	59	(31.7)	52	(27.8)	53	(29.8)	57	(33.5)	47	(27.5)	74	(37.0)	387	(30.8)
まったくできな	47	(28.5)	56	(30.1)	57	(30.5)	60	(33.7)	50	(29.4)	39	(22.8)	52	(26.0)	361	(28.7)
い																
回答者総数	165	(100)	186	(100)	187	(100)	178	(100)	170	(100)	171	(100)	200	(100)	1,257	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 17. 「悩んでいる人に相談先を紹介する」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
十分できる	7	(4.2)	5	(2.7)	10	(5.3)	10	(5.6)	5	(2.9)	9	(5.2)	9	(4.5)	55	(4.4)
すこしはできる	52	(31.5)	41	(22.0)	64	(34.2)	45	(25.1)	37	(21.8)	46	(26.7)	62	(31.0)	347	(27.6)
どちらともいえない	37	(22.4)	60	(32.3)	45	(24.1)	40	(22.3)	45	(26.5)	49	(28.5)	56	(28.0)	332	(26.4)
ない																
あまりできない	36	(21.8)	56	(30.1)	38	(20.3)	45	(25.1)	52	(30.6)	40	(23.3)	45	(22.5)	312	(24.8)
まったくできな	33	(20.0)	24	(12.9)	30	(16.0)	39	(21.8)	31	(18.2)	28	(16.3)	28	(14.0)	213	(16.9)
い																
回答者総数	165	(100)	186	(100)	187	(100)	179	(100)	170	(100)	172	(100)	200	(100)	1,259	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 17. 「自分で自分の心身の健康を管理する」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
十分できる	26	(15.6)	39	(21.0)	42	(22.2)	48	(26.7)	41	(24.0)	44	(25.4)	52	(26.1)	292	(23.1)
すこしはできる	90	(53.9)	95	(51.1)	96	(50.8)	80	(44.4)	93	(54.4)	84	(48.6)	103	(51.8)	641	(50.7)
どちらともいえない	33	(19.8)	29	(15.6)	35	(18.5)	32	(17.8)	26	(15.2)	32	(18.5)	34	(17.1)	221	(17.5)
ない																
あまりできない	14	(8.4)	12	(6.5)	13	(6.9)	17	(9.4)	9	(5.3)	10	(5.8)	7	(3.5)	82	(6.5)
まったくできない	4	(2.4)	11	(5.9)	3	(1.6)	3	(1.7)	2	(1.2)	3	(1.7)	3	(1.5)	29	(2.3)
い																
回答者総数	167	(100)	186	(100)	189	(100)	180	(100)	171	(100)	173	(100)	199	(100)	1,265	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 18. インターネットの利用頻度

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
ほぼ毎日	136	(81.4)	153	(81.0)	157	(82.6)	145	(78.4)	150	(87.7)	149	(84.2)	173	(85.2)	1,063	(82.9)
週に数回	9	(5.4)	11	(5.8)	6	(3.2)	11	(5.9)	6	(3.5)	10	(5.6)	10	(4.9)	63	(4.9)
月に数回	4	(2.4)	2	(1.1)	3	(1.6)	6	(3.2)	1	(0.6)	2	(1.1)	6	(3.0)	24	(1.9)
月に1回以下	0	(0.0)	1	(0.5)	0	(0.0)	1	(0.5)	0	(0.0)	2	(1.1)	1	(0.5)	5	(0.4)
ほぼ使わない	18	(10.8)	22	(11.6)	24	(12.6)	22	(11.9)	14	(8.2)	14	(7.9)	13	(6.4)	127	(9.9)
回答者総数	167	(100)	189	(100)	190	(100)	185	(100)	171	(100)	177	(100)	203	(100)	1,282	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 18-1. インターネットを介した友人・仲間との連絡・会話の頻度

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
ほぼ毎日	50	(34.5)	56	(33.7)	70	(42.4)	65	(39.9)	63	(40.6)	57	(35.0)	69	(36.5)	430	(37.5)
週に数回	47	(32.4)	51	(30.7)	39	(23.6)	44	(27.0)	31	(20.0)	34	(20.9)	54	(28.6)	300	(26.2)
月に数回	25	(17.2)	23	(13.9)	32	(19.4)	30	(18.4)	25	(16.1)	42	(25.8)	47	(24.9)	224	(19.5)
月に1回以下	9	(6.2)	22	(13.3)	11	(6.7)	11	(6.7)	22	(14.2)	15	(9.2)	9	(4.8)	99	(8.6)
ほぼ使わない	14	(9.7)	14	(8.4)	13	(7.9)	13	(8.0)	14	(9.0)	15	(9.2)	10	(5.3)	93	(8.1)
回答者総数	145	(100)	166	(100)	165	(100)	163	(100)	155	(100)	163	(100)	189	(100)	1,146	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 18-2. インターネットを介して自身の悩みを伝えるか

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
たくさん伝えている	7	(5.4)	2	(1.3)	8	(5.3)	10	(6.7)	9	(6.4)	8	(5.4)	8	(4.5)	52	(5.0)
すこし伝えている	32	(24.8)	35	(23.0)	39	(26.0)	32	(21.3)	19	(13.6)	33	(22.4)	38	(21.2)	228	(21.8)
あまり伝えていない	45	(34.9)	52	(34.2)	41	(27.3)	42	(28.0)	50	(35.7)	43	(29.3)	61	(34.1)	334	(31.9)
まったく伝えていない	45	(34.9)	63	(41.4)	62	(41.3)	66	(44.0)	62	(44.3)	63	(42.9)	72	(40.2)	433	(41.4)
回答者総数	129	(100)	152	(100)	150	(100)	150	(100)	140	(100)	147	(100)	179	(100)	1,047	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 19. 「新型コロナウイルスがとても怖い」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	39	(23.6)	38	(20.0)	36	(18.9)	32	(17.3)	32	(18.6)	38	(21.2)	30	(15.1)	245	(19.1)
どちらかといえばそう思う	53	(32.1)	58	(30.5)	60	(31.6)	79	(42.7)	55	(32.0)	57	(31.8)	81	(40.7)	443	(34.6)
どちらともいえない	29	(17.6)	38	(20.0)	36	(18.9)	30	(16.2)	32	(18.6)	34	(19.0)	31	(15.6)	230	(18.0)
どちらかといえばそう思わない	21	(12.7)	29	(15.3)	30	(15.8)	21	(11.4)	32	(18.6)	26	(14.5)	30	(15.1)	189	(14.8)
そう思わない	23	(13.9)	27	(14.2)	28	(14.7)	23	(12.4)	21	(12.2)	24	(13.4)	27	(13.6)	173	(13.5)
回答者総数	165	(100)	190	(100)	190	(100)	185	(100)	172	(100)	179	(100)	199	(100)	1,280	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 19. 「新型コロナウイルスについて考えると不快になる」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	11	(6.7)	17	(8.9)	11	(5.8)	16	(8.8)	15	(8.8)	19	(10.9)	16	(8.1)	105	(8.3)
どちらかといえばそう思う	28	(17.0)	38	(20.0)	45	(23.8)	49	(27.1)	38	(22.2)	26	(14.9)	39	(19.7)	263	(20.7)
どちらともいえない	52	(31.5)	52	(27.4)	50	(26.5)	40	(22.1)	37	(21.6)	44	(25.3)	44	(22.2)	319	(25.2)
どちらかといえばそう思わない	20	(12.1)	36	(18.9)	37	(19.6)	31	(17.1)	35	(20.5)	34	(19.5)	42	(21.2)	235	(18.5)
そう思わない	54	(32.7)	47	(24.7)	46	(24.3)	45	(24.9)	46	(26.9)	51	(29.3)	57	(28.8)	346	(27.3)
回答者総数	165	(100)	190	(100)	189	(100)	181	(100)	171	(100)	174	(100)	198	(100)	1,268	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 19. 「新型コロナウイルスについて考えると手汗をかく」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	3	(1.8)	0	(0.0)	2	(1.1)	1	(0.6)	2	(1.2)	1	(0.6)	0	(0.0)	9	(0.7)
どちらかといえばそ う思う	2	(1.2)	4	(2.1)	1	(0.5)	2	(1.1)	1	(0.6)	2	(1.1)	5	(2.5)	17	(1.3)
どちらともいえない	17	(10.3)	24	(12.6)	20	(10.5)	14	(7.8)	15	(8.8)	16	(9.2)	15	(7.6)	121	(9.5)
どちらかといえばそ う思わない	19	(11.5)	35	(18.4)	33	(17.4)	25	(13.9)	35	(20.5)	27	(15.5)	30	(15.2)	204	(16.1)
そう思わない	124	(75.2)	127	(66.8)	134	(70.5)	138	(76.7)	118	(69.0)	128	(73.6)	148	(74.7)	917	(72.3)
回答者総数	165	(100)	190	(100)	190	(100)	180	(100)	171	(100)	174	(100)	198	(100)	1,268	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 19. 「新型コロナウイルスで命を失うことを恐れている」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	14	(8.4)	14	(7.3)	16	(8.4)	16	(8.8)	17	(9.9)	11	(6.3)	13	(6.6)	101	(7.9)
どちらかといえ ばそう思う	34	(20.5)	39	(20.4)	34	(17.8)	37	(20.4)	33	(19.3)	36	(20.7)	47	(23.7)	260	(20.4)
どちらともいえない	39	(23.5)	43	(22.5)	40	(20.9)	42	(23.2)	28	(16.4)	41	(23.6)	46	(23.2)	279	(21.9)
どちらかといえ ばそう思わない	28	(16.9)	40	(20.9)	41	(21.5)	29	(16.0)	41	(24.0)	34	(19.5)	33	(16.7)	246	(19.3)
そう思わない	51	(30.7)	55	(28.8)	60	(31.4)	57	(31.5)	52	(30.4)	52	(29.9)	59	(29.8)	386	(30.3)
回答者総数	166	(100)	191	(100)	191	(100)	181	(100)	171	(100)	174	(100)	198	(100)	1,272	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 19. 「インターネットで新型コロナウイルスのニュースや話題をみると、緊張したり、不安になったりする」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	1	(0.6)	4	(2.1)	6	(3.2)	4	(2.2)	5	(2.9)	4	(2.3)	6	(3.0)	30	(2.4)
どちらかといえば ばそう思う	24	(14.5)	22	(11.6)	17	(8.9)	26	(14.4)	16	(9.4)	18	(10.3)	18	(9.1)	141	(11.1)
どちらともいえない	33	(20.0)	34	(17.9)	33	(17.4)	29	(16.1)	28	(16.4)	37	(21.3)	39	(19.7)	233	(18.4)
ない																
どちらかといえば ばそう思わない	24	(14.5)	43	(22.6)	44	(23.2)	46	(25.6)	41	(24.0)	30	(17.2)	40	(20.2)	268	(21.1)
そう思わない	83	(50.3)	87	(45.8)	90	(47.4)	75	(41.7)	81	(47.4)	85	(48.9)	95	(48.0)	596	(47.0)
回答者総数	165	(100)	190	(100)	190	(100)	180	(100)	171	(100)	174	(100)	198	(100)	1,268	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 19. 「新型コロナウイルス感染が心配で眠れない」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	1	(0.6)	0	(0.0)	1	(0.5)	1	(0.6)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(0.2)
どちらかといえば そう思う	1	(0.6)	2	(1.1)	0	(0.0)	4	(2.2)	1	(0.6)	2	(1.1)	4	(2.1)	14	(1.1)
どちらともいえない	13	(7.9)	18	(9.5)	14	(7.4)	10	(5.6)	14	(8.2)	23	(13.2)	9	(4.6)	101	(8.0)
い																
どちらかといえば そう思わない	29	(17.6)	32	(16.8)	35	(18.4)	26	(14.4)	26	(15.3)	24	(13.8)	24	(12.3)	196	(15.5)
そう思わない	121	(73.3)	138	(72.6)	140	(73.7)	139	(77.2)	129	(75.9)	125	(71.8)	158	(81.0)	950	(75.2)
回答者総数	165	(100)	190	(100)	190	(100)	180	(100)	170	(100)	174	(100)	195	(100)	1,264	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 19. 「新型コロナウイルス感染について考えると、心拍が早くなったり、動悸がしたりする」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	1	(0.6)	2	(1.1)	1	(0.5)	1	(0.6)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	5	(0.4)
どちらかといえば そう思う	2	(1.2)	3	(1.6)	2	(1.1)	1	(0.6)	3	(1.8)	1	(0.6)	3	(1.5)	15	(1.2)
どちらともいえない	11	(6.7)	12	(6.3)	11	(5.8)	7	(3.9)	14	(8.2)	21	(12.0)	10	(5.1)	86	(6.8)
い どちらかといえば そう思わない	28	(17.0)	27	(14.2)	33	(17.4)	27	(14.9)	20	(11.7)	22	(12.6)	20	(10.1)	177	(13.9)
そう思わない	123	(74.5)	146	(76.8)	143	(75.3)	145	(80.1)	134	(78.4)	131	(74.9)	165	(83.3)	987	(77.7)
回答者総数	165	(100)	190	(100)	190	(100)	181	(100)	171	(100)	175	(100)	198	(100)	1,270	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 19. 日常生活への支障

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
日常生活に支障あり (21点以上)	25	(15.2)	27	(14.2)	29	(15.3)	21	(11.7)	22	(12.9)	31	(18.1)	27	(13.8)	182	(14.5)
日常生活に支障なし (20点以下)	140	(84.8)	163	(85.8)	160	(84.7)	158	(88.3)	148	(87.1)	140	(81.9)	168	(86.2)	1,077	(85.5)
回答者総数	165	(100)	190	(100)	189	(100)	179	(100)	170	(100)	171	(100)	195	(100)	1,259	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 20. 「職場における仕事量が増えた、または仕事の内容が変わった」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	19	(12.7)	35	(19.1)	43	(24.0)	35	(20.8)	20	(12.7)	30	(18.9)	27	(14.4)	209	(17.7)
どちらかといえば そう思う	30	(20.0)	47	(25.7)	34	(19.0)	35	(20.8)	32	(20.4)	26	(16.4)	38	(20.2)	242	(20.4)
どちらともいえない	32	(21.3)	39	(21.3)	32	(17.9)	32	(19.0)	34	(21.7)	37	(23.3)	32	(17.0)	238	(20.1)
どちらかといえば そう思わない	15	(10.0)	11	(6.0)	19	(10.6)	20	(11.9)	16	(10.2)	15	(9.4)	16	(8.5)	112	(9.5)
そう思わない	54	(36.0)	51	(27.9)	51	(28.5)	46	(27.4)	55	(35.0)	51	(32.1)	75	(39.9)	383	(32.3)
回答者総数	150	(100)	183	(100)	179	(100)	168	(100)	157	(100)	159	(100)	188	(100)	1,184	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 20. 「家庭における家事や育児、介護等の負担が増えた」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	10	(6.5)	14	(7.4)	16	(8.6)	9	(5.2)	9	(5.4)	13	(7.9)	8	(4.1)	79	(6.4)
どちらかといえばそ う思う	20	(13.0)	25	(13.2)	23	(12.4)	25	(14.5)	21	(12.7)	27	(16.4)	22	(11.2)	163	(13.3)
どちらともいえない	34	(22.1)	48	(25.4)	39	(21.1)	34	(19.8)	44	(26.5)	41	(24.8)	39	(19.8)	279	(22.7)
どちらかといえばそ う思わない	21	(13.6)	26	(13.8)	30	(16.2)	21	(12.2)	18	(10.8)	12	(7.3)	26	(13.2)	154	(12.5)
そう思わない	69	(44.8)	76	(40.2)	77	(41.6)	83	(48.3)	74	(44.6)	72	(43.6)	102	(51.8)	553	(45.0)
回答者総数	154	(100)	189	(100)	185	(100)	172	(100)	166	(100)	165	(100)	197	(100)	1,228	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 20. 「人(同僚や家族、友人等)とのコミュニケーションの時間が少なくなった」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	36	(23.1)	64	(33.5)	60	(31.6)	56	(31.1)	51	(30.2)	56	(31.6)	50	(25.3)	373	(29.6)
どちらかといえばそ う思う	55	(35.3)	62	(32.5)	67	(35.3)	56	(31.1)	61	(36.1)	46	(26.0)	69	(34.8)	416	(33.0)
どちらともいえない	27	(17.3)	21	(11.0)	24	(12.6)	21	(11.7)	20	(11.8)	24	(13.6)	30	(15.2)	167	(13.2)
どちらかといえばそ う思わない	11	(7.1)	16	(8.4)	16	(8.4)	18	(10.0)	9	(5.3)	18	(10.2)	22	(11.1)	110	(8.7)
そう思わない	27	(17.3)	28	(14.7)	23	(12.1)	29	(16.1)	28	(16.6)	33	(18.6)	27	(13.6)	195	(15.5)
回答者総数	156	(100)	191	(100)	190	(100)	180	(100)	169	(100)	177	(100)	198	(100)	1,261	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 20. 「生活が脅かされるほど収入が少なくなった」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	5	(3.2)	10	(5.3)	9	(4.8)	12	(6.7)	12	(7.2)	6	(3.5)	6	(3.0)	60	(4.8)
どちらかといえばそ う思う	11	(7.1)	19	(10.1)	10	(5.4)	18	(10.1)	9	(5.4)	21	(12.3)	11	(5.6)	99	(8.0)
どちらともいえない	33	(21.4)	37	(19.6)	43	(23.1)	28	(15.7)	30	(18.1)	41	(24.0)	23	(11.7)	235	(18.9)
どちらかといえばそ う思わない	23	(14.9)	28	(14.8)	27	(14.5)	28	(15.7)	25	(15.1)	20	(11.7)	31	(15.7)	182	(14.7)
そう思わない	82	(53.2)	95	(50.3)	97	(52.2)	92	(51.7)	90	(54.2)	83	(48.5)	126	(64.0)	665	(53.6)
回答者総数	154	(100)	189	(100)	186	(100)	178	(100)	166	(100)	171	(100)	197	(100)	1,241	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 20. 「住居が失われた」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	0	(0.0)	1	(0.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.5)	2	(0.2)
どちらかといえばそ う思う	1	(0.7)	1	(0.5)	1	(0.5)	0	(0.0)	2	(1.2)	0	(0.0)	2	(1.0)	7	(0.6)
どちらともいえない	6	(3.9)	7	(3.7)	10	(5.4)	4	(2.3)	7	(4.2)	8	(4.7)	5	(2.6)	47	(3.8)
どちらかといえばそ う思わない	7	(4.6)	9	(4.8)	15	(8.1)	8	(4.5)	5	(3.0)	9	(5.3)	10	(5.2)	63	(5.1)
そう思わない	139	(90.8)	170	(90.4)	160	(86.0)	164	(93.2)	152	(91.6)	152	(89.9)	176	(90.7)	1,113	(90.3)
回答者総数	153	(100)	188	(100)	186	(100)	176	(100)	166	(100)	169	(100)	194	(100)	1,232	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 20. 「こころの健康が悪化した」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	7	(4.5)	4	(2.1)	7	(3.7)	6	(3.4)	8	(4.8)	6	(3.6)	7	(3.6)	45	(3.6)
どちらかといえばそ う思う	16	(10.3)	26	(13.8)	26	(13.9)	20	(11.3)	26	(15.6)	18	(10.7)	16	(8.1)	148	(11.9)
どちらともいえない	20	(12.8)	32	(16.9)	35	(18.7)	27	(15.3)	17	(10.2)	47	(27.8)	36	(18.3)	214	(17.2)
どちらかといえばそ う思わない	13	(8.3)	23	(12.2)	27	(14.4)	31	(17.5)	12	(7.2)	26	(15.4)	28	(14.2)	160	(12.9)
そう思わない	100	(64.1)	104	(55.0)	92	(49.2)	93	(52.5)	104	(62.3)	72	(42.6)	110	(55.8)	675	(54.3)
回答者総数	156	(100)	189	(100)	187	(100)	177	(100)	167	(100)	169	(100)	197	(100)	1,242	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 20. 「からだの健康が悪化した」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	6	(3.8)	5	(2.6)	7	(3.8)	4	(2.2)	11	(6.6)	12	(7.0)	8	(4.1)	53	(4.3)
どちらかといえばそ う思う	12	(7.6)	28	(14.8)	29	(15.6)	21	(11.7)	23	(13.9)	21	(12.3)	22	(11.2)	156	(12.5)
どちらともいえない	24	(15.3)	29	(15.3)	40	(21.5)	25	(14.0)	24	(14.5)	42	(24.6)	35	(17.8)	219	(17.6)
どちらかといえばそ う思わない	14	(8.9)	23	(12.2)	21	(11.3)	36	(20.1)	11	(6.6)	21	(12.3)	31	(15.7)	157	(12.6)
そう思わない	101	(64.3)	104	(55.0)	89	(47.8)	93	(52.0)	97	(58.4)	75	(43.9)	101	(51.3)	660	(53.0)
回答者総数	157	(100)	189	(100)	186	(100)	179	(100)	166	(100)	171	(100)	197	(100)	1,245	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 20. 「家族や大事な人とのつながりが失われた」

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
そう思う	8	(5.2)	9	(4.7)	6	(3.2)	9	(5.1)	9	(5.3)	8	(4.7)	8	(4.1)	57	(4.6)
どちらかといえばそ う思う	16	(10.3)	29	(15.3)	22	(11.8)	31	(17.5)	22	(13.0)	24	(14.1)	25	(12.7)	169	(13.6)
どちらともいえない	16	(10.3)	30	(15.8)	31	(16.7)	17	(9.6)	19	(11.2)	27	(15.9)	33	(16.8)	173	(13.9)
どちらかといえばそ う思わない	14	(9.0)	20	(10.5)	30	(16.1)	23	(13.0)	23	(13.6)	22	(12.9)	23	(11.7)	155	(12.5)
そう思わない	101	(65.2)	102	(53.7)	97	(52.2)	97	(54.8)	96	(56.8)	89	(52.4)	108	(54.8)	690	(55.5)
回答者総数	155	(100)	190	(100)	186	(100)	177	(100)	169	(100)	170	(100)	197	(100)	1,244	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 21. 性別

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
男性	75	(44.6)	85	(44.5)	88	(46.1)	74	(40.0)	83	(49.1)	64	(35.8)	82	(40.4)	551	(42.8)
女性	92	(54.8)	106	(55.5)	100	(52.4)	111	(60.0)	86	(50.9)	114	(63.7)	119	(58.6)	728	(56.6)
回答者総数	168	(100)	191	(100)	191	(100)	185	(100)	169	(100)	179	(100)	203	(100)	1,286	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。個人属性であるため、度数が小さい性別がその他の者は総数にのみ含めた。

質問 21. 年齢階級

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
20～29 歳	16	(9.5)	11	(5.8)	17	(8.9)	20	(10.8)	18	(10.5)	15	(8.4)	21	(10.4)	118	(9.2)
30～39 歳	21	(12.4)	36	(18.8)	28	(14.7)	24	(13.0)	18	(10.5)	29	(16.2)	27	(13.4)	183	(14.2)
40～49 歳	28	(16.6)	27	(14.1)	29	(15.2)	31	(16.8)	22	(12.8)	33	(18.4)	25	(12.4)	195	(15.1)
50～59 歳	26	(15.4)	37	(19.4)	31	(16.2)	31	(16.8)	36	(20.9)	26	(14.5)	35	(17.3)	222	(17.2)
60～69 歳	34	(20.1)	40	(20.9)	41	(21.5)	39	(21.1)	36	(20.9)	34	(19.0)	41	(20.3)	265	(20.6)
70 歳以上	44	(26.0)	40	(20.9)	45	(23.6)	40	(21.6)	42	(24.4)	42	(23.5)	53	(26.2)	306	(23.7)
回答者総数	169	(100)	191	(100)	191	(100)	185	(100)	172	(100)	179	(100)	202	(100)	1,289	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 22. 主たる職業

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
フルタイムの勤務	74	(44.0)	81	(42.2)	104	(54.2)	83	(44.6)	68	(39.5)	80	(44.7)	73	(36.0)	563	(43.6)
パートタイムの勤務	23	(13.7)	38	(19.8)	22	(11.5)	31	(16.7)	34	(19.8)	22	(12.3)	35	(17.2)	205	(15.9)
自営業	12	(7.1)	14	(7.3)	10	(5.2)	12	(6.5)	6	(3.5)	12	(6.7)	12	(5.9)	78	(6.0)
主婦・主夫	15	(8.9)	23	(12.0)	17	(8.9)	16	(8.6)	14	(8.1)	25	(14.0)	39	(19.2)	149	(11.5)
学生	2	(1.2)	0	(0.0)	3	(1.6)	4	(2.2)	5	(2.9)	2	(1.1)	3	(1.5)	19	(1.5)
無職（年金受給者を含む）	36	(21.4)	31	(16.1)	30	(15.6)	33	(17.7)	42	(24.4)	36	(20.1)	35	(17.2)	243	(18.8)
その他	6	(3.6)	5	(2.6)	6	(3.1)	7	(3.8)	3	(1.7)	2	(1.1)	6	(3.0)	35	(2.7)
回答者総数	168	(100)	192	(100)	192	(100)	186	(100)	172	(100)	179	(100)	203	(100)	1,292	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 23. 家族構成

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
単独世帯	42	(24.9)	36	(18.8)	31	(16.3)	31	(16.8)	19	(11.0)	34	(19.1)	24	(11.8)	217	(16.8)
核家族世帯（夫婦のみ、親と子）	93	(55.0)	126	(65.6)	140	(73.7)	118	(63.8)	118	(68.6)	116	(65.2)	137	(67.5)	848	(65.8)
親族のみの世帯（「1」、「2」以外）	33	(19.5)	28	(14.6)	17	(8.9)	33	(17.8)	32	(18.6)	26	(14.6)	41	(20.2)	210	(16.3)
親族以外を含む世帯	1	(0.6)	2	(1.0)	2	(1.1)	3	(1.6)	3	(1.7)	2	(1.1)	1	(0.5)	14	(1.1)
回答者総数	169	(100)	192	(100)	190	(100)	185	(100)	172	(100)	178	(100)	203	(100)	1,289	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問 25. 川崎市での居住年数

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		全市	
	n	(%)	n	(%)												
5年未満	25	(14.8)	31	(16.1)	23	(12.0)	24	(12.9)	18	(10.5)	23	(12.8)	20	(9.9)	164	(12.7)
5年以上10年未 満	18	(10.7)	20	(10.4)	23	(12.0)	16	(8.6)	12	(7.0)	23	(12.8)	18	(8.9)	130	(10.0)
10年以上20年未 満	19	(11.2)	35	(18.2)	36	(18.8)	36	(19.4)	25	(14.5)	29	(16.1)	37	(18.2)	217	(16.8)
20年以上	107	(63.3)	106	(55.2)	110	(57.3)	110	(59.1)	117	(68.0)	105	(58.3)	128	(63.1)	783	(60.5)
回答者総数	169	(100)	192	(100)	192	(100)	186	(100)	172	(100)	180	(100)	203	(100)	1,294	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各行政区及び全市の回答者総数である。

質問3 × 質問7. 日常生活における悩み・ストレスと精神的健康の悪化

	精神的健康の悪化なし		精神的健康の悪化あり	
	(S-WHO-5-J: 6点以上)		(S-WHO-5-J: 5点以下)	
	n	(%)	n	(%)
家族との人間関係	145	(23.9)	77	(27.6)
家族以外との人間関係	122	(20.1)	81	(29.0)
恋愛・性に関すること	39	(6.4)	28	(10.0)
結婚	33	(5.4)	19	(6.8)
離婚	10	(1.6)	7	(2.5)
いじめ・セクシュアル・ハラスメント	9	(1.5)	13	(4.7)
生きがいに关すること	118	(19.4)	118	(42.3)
自由にできる時間がないこと	55	(9.1)	44	(15.8)
収入・家計・借金等	223	(36.7)	152	(54.5)
自分の病気や介護	159	(26.2)	102	(36.6)
家族の病気や介護	165	(27.2)	85	(30.5)
妊娠・出産	31	(5.1)	6	(2.2)
育児	67	(11.0)	20	(7.2)
家事	55	(9.1)	44	(15.8)
自分の学業・受験・進学	20	(3.3)	9	(3.2)
子どもの教育	77	(12.7)	47	(16.8)
自分の仕事	268	(44.2)	157	(56.3)
家族の仕事	55	(9.1)	37	(13.3)
住まいや生活環境（公害、安全及び交通事情を含む）	78	(12.9)	44	(15.8)
その他	52	(8.6)	21	(7.5)
わからない	4	(0.7)	0	(0.0)
回答者総数	607	(100)	279	(100.0)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。

質問4 × 質問7. 悩み・ストレスの主たる相談先と精神的健康の悪化

	精神的健康の悪化なし		精神的健康の悪化あり	
	(S-WHO-5-J: 6 点以上)		(S-WHO-5-J: 5 点以下)	
	n	(%)	n	(%)
家族	351	(58.0)	128	(46.7)
友人・知人	252	(41.7)	96	(35.0)
職場の上司、学校の先生	76	(12.6)	24	(8.8)
公的機関（保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等）	22	(3.6)	9	(3.3)
民間の相談機関（悩み相談所等）	17	(2.8)	1	(0.4)
病院・診療所の医師	94	(15.5)	44	(16.1)
テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナー	10	(1.7)	1	(0.4)
上記以外（職場の相談窓口等）	7	(1.2)	5	(1.8)
相談したいが誰にも相談できないでいる	39	(6.4)	46	(16.8)
相談したいがどこに相談したらよいかわからない	31	(5.1)	29	(10.6)
相談する必要はないので誰にも相談しない	87	(14.4)	37	(13.5)
回答者総数	605	(100)	274	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。

質問8 × 質問7. 地域とのつながり(「地域の人を信頼できる」と精神的健康の悪化

	精神的健康の悪化なし		精神的健康の悪化あり	
	(S-WHO-5-J : 6 点以上)		(S-WHO-5-J : 5 点以下)	
	n	(%)	n	(%)
そう思う	83	(8.7)	5	(1.7)
どちらかといえばそう思う	363	(38.1)	64	(21.7)
どちらともいえない	416	(43.7)	138	(46.8)
どちらかといえばそう思わない	58	(6.1)	43	(14.6)
そう思わない	33	(3.5)	45	(15.3)
回答者総数	953	(100)	295	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。

質問8 × 質問7. 地域とのつながり(「この地域の役に立ちたい」と精神的健康の悪化

	精神的健康の悪化なし		精神的健康の悪化あり	
	(S-WHO-5-J : 6 点以上)		(S-WHO-5-J : 5 点以下)	
	n	(%)	n	(%)
そう思う	105	(11.0)	13	(4.4)
どちらかといえばそう思う	366	(38.2)	72	(24.3)
どちらともいえない	380	(39.7)	122	(41.2)
どちらかといえばそう思わない	74	(7.7)	42	(14.2)
そう思わない	33	(3.4)	47	(15.9)
回答者総数	958	(100)	296	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。

質問8 × 質問7. 地域とのつながり(「この地域の一員である実感できる」と精神的健康の悪化

	精神的健康の悪化なし		精神的健康の悪化あり	
	(S-WHO-5-J : 6 点以上)		(S-WHO-5-J : 5 点以下)	
	n	(%)	n	(%)
そう思う	82	(8.6)	3	(1.0)
どちらかといえばそう思う	243	(25.4)	40	(13.6)
どちらともいえない	406	(42.4)	110	(37.4)
どちらかといえばそう思わない	160	(16.7)	73	(24.8)
そう思わない	66	(6.9)	68	(23.1)
回答者総数	957	(100)	294	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。

質問 20 × 質問 7. 新型コロナウイルス流行以降の生活変化(「職場における仕事量が増えた、または仕事の内容が変わった」と精神的健康の悪化

	精神的健康の悪化なし (S-WHO-5-J: 6 点以上)		精神的健康の悪化あり (S-WHO-5-J: 5 点以下)	
	n	(%)	n	(%)
そう思う	147	(16.4)	62	(22.3)
どちらかといえばそう思う	182	(20.3)	58	(20.9)
どちらともいえない	177	(19.7)	63	(22.7)
どちらかといえばそう思わない	86	(9.6)	23	(8.3)
そう思わない	306	(34.1)	72	(25.9)
回答者総数	898	(100)	278	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。

質問 20 × 質問 7. 新型コロナウイルス流行以降の生活変化(「家庭における家事や育児、介護等の負担が増えた」と精神的健康の悪化

	精神的健康の悪化なし (S-WHO-5-J: 6 点以上)		精神的健康の悪化あり (S-WHO-5-J: 5 点以下)	
	n	(%)	n	(%)
そう思う	48	(5.1)	31	(10.8)
どちらかといえばそう思う	125	(13.4)	36	(12.5)
どちらともいえない	198	(21.2)	79	(27.5)
どちらかといえばそう思わない	118	(12.6)	36	(12.5)
そう思わない	444	(47.6)	105	(36.6)
回答者総数	933	(100)	287	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。

質問 20 × 質問 7. 新型コロナウイルス流行以降の生活変化(「人(同僚や家族、友人等)とのコミュニケーションの時間が少なくなった」と精神的健康の悪化

	精神的健康の悪化なし (S-WHO-5-J: 6 点以上)		精神的健康の悪化あり (S-WHO-5-J: 5 点以下)	
	n	(%)	n	(%)
そう思う	268	(28.2)	98	(33.7)
どちらかといえばそう思う	320	(33.6)	90	(30.9)
どちらともいえない	117	(12.3)	47	(16.2)
どちらかといえばそう思わない	92	(9.7)	16	(5.5)
そう思わない	154	(16.2)	40	(13.7)
回答者総数	951	(100)	291	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。

質問 20 × 質問 7. 新型コロナウイルス流行以降の生活変化（「生活が脅かされるほど収入が少なくなった」）と精神的健康の悪化

	精神的健康の悪化なし (S-WHO-5-J：6 点以上)		精神的健康の悪化あり (S-WHO-5-J：5 点以下)	
	n	(%)	n	(%)
そう思う	33	(3.5)	25	(8.7)
どちらかといえばそう思う	62	(6.6)	36	(12.5)
どちらともいえない	174	(18.5)	62	(21.5)
どちらかといえばそう思わない	139	(14.8)	41	(14.2)
そう思わない	534	(56.7)	124	(43.1)
回答者総数	942	(100)	288	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。

質問 20 × 質問 7. 新型コロナウイルス流行以降の生活変化(「住居が失われた」)と精神的健康の悪化

	精神的健康の悪化なし (S-WHO-5-J：6 点以上)		精神的健康の悪化あり (S-WHO-5-J：5 点以下)	
	n	(%)	n	(%)
そう思う	2	(0.2)	0	(0.0)
どちらかといえばそう思う	2	(0.2)	4	(1.4)
どちらともいえない	29	(3.1)	19	(6.7)
どちらかといえばそう思わない	42	(4.5)	21	(7.4)
そう思わない	861	(92.0)	241	(84.6)
回答者総数	936	(100)	285	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。

質問 20 × 質問 7. 新型コロナウイルス流行以降の生活変化(「こころの健康が悪化した」)と精神的健康の悪化

	精神的健康の悪化なし (S-WHO-5-J：6 点以上)		精神的健康の悪化あり (S-WHO-5-J：5 点以下)	
	n	(%)	n	(%)
そう思う	17	(1.8)	29	(10.0)
どちらかといえばそう思う	94	(10.0)	53	(18.3)
どちらともいえない	141	(15.0)	73	(25.3)
どちらかといえばそう思わない	123	(13.0)	37	(12.8)
そう思わない	568	(60.2)	97	(33.6)
回答者総数	943	(100)	289	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。

質問 20 × 質問 7. 新型コロナウイルス流行以降の生活変化(「からだの健康が悪化した」と精神的健康の悪化

	精神的健康の悪化なし		精神的健康の悪化あり	
	(S-WHO-5-J: 6 点以上)		(S-WHO-5-J: 5 点以下)	
	n	(%)	n	(%)
そう思う	28	(3.0)	26	(9.0)
どちらかといえばそう思う	107	(11.3)	48	(16.6)
どちらともいえない	148	(15.7)	69	(23.9)
どちらかといえばそう思わない	118	(12.5)	39	(13.5)
そう思わない	543	(57.5)	107	(37.0)
回答者総数	944	(100)	289	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。

質問 20 × 質問 7. 新型コロナウイルス流行以降の生活変化(「家族や大事な人とのつながりが失われた」と精神的健康の悪化

	精神的健康の悪化なし		精神的健康の悪化あり	
	(S-WHO-5-J: 6 点以上)		(S-WHO-5-J: 5 点以下)	
	n	(%)	n	(%)
そう思う	41	(4.3)	17	(5.9)
どちらかといえばそう思う	118	(12.5)	51	(17.7)
どちらともいえない	114	(12.1)	57	(19.8)
どちらかといえばそう思わない	116	(12.3)	38	(13.2)
そう思わない	557	(58.9)	125	(43.4)
回答者総数	946	(100)	288	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。

質問 21 × 質問 7. 性別と精神的健康の悪化

	精神的健康の悪化なし		精神的健康の悪化あり	
	(S-WHO-5-J : 6 点以上)		(S-WHO-5-J : 5 点以下)	
	n	(%)	n	(%)
男性	416	(43.5)	116	(39.3)
女性	535	(56.0)	177	(60.0)
その他	5	(0.5)	2	(0.7)
回答者総数	956	(100)	295	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。

質問 21 × 質問 7. 年齢階級と精神的健康の悪化

	精神的健康の悪化なし		精神的健康の悪化あり	
	(S-WHO-5-J : 6 点以上)		(S-WHO-5-J : 5 点以下)	
	n	(%)	n	(%)
20～29 歳	94	(9.8)	24	(8.1)
30～39 歳	141	(14.7)	42	(14.2)
40～49 歳	141	(14.7)	53	(17.9)
50～59 歳	164	(17.1)	58	(19.6)
60～69 歳	193	(20.1)	71	(24.0)
70 歳以上	225	(23.5)	48	(16.2)
回答者総数	958	(100)	296	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。

質問 22 × 質問 7. 職業と精神的健康の悪化

	精神的健康の悪化なし		精神的健康の悪化あり	
	(S-WHO-5-J : 6 点以上)		(S-WHO-5-J : 5 点以下)	
	n	(%)	n	(%)
フルタイムの勤務	421	(43.9)	141	(47.3)
パートタイムの勤務	145	(15.1)	55	(18.5)
自営業	50	(5.2)	20	(6.7)
主婦・主夫	124	(12.9)	23	(7.7)
学生	16	(1.7)	3	(1.0)
無職（年金受給者を含む）	176	(18.4)	49	(16.4)
その他	27	(2.8)	7	(2.3)
回答者総数	959	(100)	298	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。

質問 23 × 質問 7. 家族構成と精神的健康の悪化

	精神的健康の悪化なし		精神的健康の悪化あり	
	(S-WHO-5-J : 6 点以上)		(S-WHO-5-J : 5 点以下)	
	n	(%)	n	(%)
単独世帯	151	(15.7)	62	(20.9)
核家族世帯（夫婦のみ、親と子）	654	(68.2)	174	(58.6)
親族のみの世帯（「1」、「2」以外）	142	(14.8)	59	(19.9)
親族以外を含む世帯	12	(1.3)	2	(0.7)
回答者総数	959	(100)	297	(100)

注) 表中のパーセンテージ算出の分母は各列の回答者総数である。

資料 2

かわさきし けんこう かん いしきちょうさ 川崎市こころの健康に関する意識調査

きょうりょく ねが ご協力のお願い

みなさま ひごころ しせい はってん りかい きょうりょく まこと
皆様には日頃から市政の発展にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

このたび、川崎市ではこころの健康について市民の皆様の現状やお考えなどをお聞きして、自殺
予防を含む総合的なこころの健康づくりを進める基礎資料とするために調査を実施することにな
りました。この調査は、川崎市にお住まいの20歳から70歳の方から無作為に約3千名を選ばせ
ていただいて実施します。市政に反映させていただく重要な意識調査です。調査の趣旨をご理解
いただき、何卒ご協力くださいますようお願いいたします。

れいわ ねん がつ
令和5年4月

ちようさ かいとうほうほう <調査の回答方法について>

ちようさ ゆうそうまた ほうほう かいとう
調査は、郵送又はインターネットのいずれかの方法で回答してください。

① ゆうそう かいとう ばあい 郵送で回答する場合

きにゅう ちようさひよう どうふう へんしんようふうとう きてつふよう い
記入いただいた調査票を、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

れいわ ねん がつ げつ とうかん
令和5年5月1日（月）までに投函してください。

② かいとう ばあい インターネットで回答する場合

つき
次のアドレス (<https://rsch.jp/f1802c2d1fb5e3f9/login.php>)

ても
またはお手持ちのスマートフォンやタブレットから右記QRコードを読み

と ちようさかいとう せい
取り、調査回答フォームにアクセスし、令和5年5月1日（月）

かいとう
までに回答してください。



にゅうりょく ばんごう しょうくだ
入力コード番号は _____ をご使用下さい。

にゅうりょく ゆうそうかいとう かいとう ちようふく さ こじん とくてい
(入力コードは郵送回答とインターネット回答の重複を避けるためのものであり、個人の特定にはつながりません)

といあわ さき かわさきしけんこうふくしきょくそうごう すいしん
【問合せ先】川崎市健康福祉局総合リハビリテーション推進センター

〒210-0024 かわさきしかわさきくにしんちよう かわさきしふくごうふくし かい
川崎市川崎区日進町5-1 川崎市複合福祉センター2階

でんわ
電話 (044) 200-3197 FAX (044) 200-3974

といあわ じかん へいじつ
(問合せ時間：平日8:30～12:00、13:00～17:00)



＜調査票のご回答にあたって＞

- 封筒の宛て名のご本人が、ご自身のお考えでお答えください。
- 回答は、最初から1問ずつ、該当する全部の質問にお答えください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、() 内に簡潔に内容をご記入ください。
- 質問によって、○をつける数を指定しておりますので、その範囲内でお答えください。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印(→)の指示に示すとおりにお答えください。
- 回収したアンケートは適切に管理し、統計的に処理を行い、個人が特定されることはありません。調査票や返信用の封筒にお名前を書いていただく必要もありません。
- 調査の結果については、集計と分析を行い、川崎市ホームページ等で公開する予定ですが、個人が特定されることはありません。

質問1 あなたは、こころの健康にどの程度の関心がありますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 高い関心がある | 4. あまり関心がない |
| 2. やや関心がある | 5. ほとんど関心がない |
| 3. どちらともいえない | |

質問2 あなたは現在、日常生活で悩みやストレスがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|----------|
| 1. ある | → 質問3、4へ |
| 2. ない | → 質問5へ |

(質問2で「1. ある」とお答えの方に)

質問3 どのような悩みやストレスがありますか。(○はいくつでも)

その他の回答がある場合は、「20」に記入してください。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 家族との人間関係 | 12. 妊娠・出産 |
| 2. 家族以外との人間関係 | 13. 育児 |
| 3. 恋愛・性に関すること | 14. 家事 |
| 4. 結婚 | 15. 自分の学業・受験・進学 |
| 5. 離婚 | 16. 子どもの教育 |
| 6. いじめ、セクシュアル・ハラスメント | 17. 自分の仕事 |
| 7. 生きがいに関すること | 18. 家族の仕事 |
| 8. 自由にできる時間がないこと | 19. 住まいや生活環境 |
| 9. 収入・家計・借金等 | (公害、安全及び交通事情を含む) |
| 10. 自分の病気や介護 | 20. その他 () |
| 11. 家族の病気や介護 | 21. わからない |

質問3-1 質問3で回答した中で、最も気になる原因の番号を番号記入欄に記入してください。

最も気になる悩みやストレスの原因 →

（質問2で「1. ある」とお答えの方に）

質問4 悩みやストレスをどのように相談していますか。（〇はいくつでも）

1. 家族に相談している
2. 友人・知人に相談している
3. 職場の上司、学校の先生に相談している
4. 公的機関（保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等）の相談窓口（電話等での相談を含む）を利用している
5. 民間の相談機関（悩み相談所等）の相談窓口（電話等での相談を含む）を利用している
6. 病院・診療所の医師に相談している
7. テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用している
8. 「1」～「7」以外で相談している（職場の相談窓口等）
9. 相談したいが誰にも相談できないでいる
10. 相談したいがどこに相談したらよいかわからない
11. 相談する必要はないので誰にも相談しない

質問4-1 質問4で回答した中で、最も気になる悩みやストレスについてどのように相談していますか。あてはまる番号の主なものを2つまで番号記入欄に記入してください。

最も気になる悩みやストレスの相談状況 →

--	--

質問5 あなたは、日常生活の不满、悩み、苦勞、ストレス等を解消するためにどのようなことをしていますか。（(ア) から (キ) について、それぞれ〇は1つ）
その他の回答がある場合は、(キ) に記入してください。

	よくする	する	あまりしない	まったくしない
(ア) 人に話を聞いてもらう	1	2	3	4
(イ) 睡眠をとる	1	2	3	4
(ウ) お酒を飲む	1	2	3	4
(エ) 運動する	1	2	3	4
(オ) 趣味やレジャーをする	1	2	3	4
(カ) 我慢して時間が経つのを待つ	1	2	3	4
(キ) その他 ()	1	2	3	4

質問6 あなたは過去1か月の間、どのような状態でしたか。

((ア) から (カ) について、それぞれ〇は1つ)

	いつも	たいてい	ときどき	すこしだけ	まったくない
(ア) 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
(イ) 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
(ウ) そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
(エ) 気分が沈みこんで、何が起ころしても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
(オ) 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
(カ) 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

質問7 最近2週間のあなたの状態に最も近いものを選んでください。

((ア) から (オ) について、それぞれ〇は1つ)

	いつもそうだった	そういう時が多かった	そういう時は少なかった	まったくなかった
(ア) 明るく、楽しい気分でした	1	2	3	4
(イ) 落ち着いたリラックスした気分でした	1	2	3	4
(ウ) 意欲的で活動的に過ごした	1	2	3	4
(エ) ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた	1	2	3	4
(オ) 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	1	2	3	4

質問8 次の項目について、あなたの考えに最も近い番号を選んでください。「地域」とはお住
まいの「町内」をイメージしています。(ア)から(ク)について、それぞれ〇は1つ

	そう思う おも	どちらかといえば そう思う おも	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない おも	そう思わない おも
(ア) 自分は幸福である	1	2	3	4	5
(イ) 一般的に人は信頼できる	1	2	3	4	5
(ウ) 地域の人を信頼できる	1	2	3	4	5
(エ) 地域の方は、多くの場合、他の人の役に立ち とする	1	2	3	4	5
(オ) この地域の役に立ちたい	1	2	3	4	5
(カ) この地域の一員であると実感できる	1	2	3	4	5
(キ) この地域の中でのつながりを大事にしたい	1	2	3	4	5
(ク) 今後もこの地域に住み続けたい	1	2	3	4	5

質問9 この1年間、あなたは下記の行事や活動に参加しましたか。(〇はいくつでも)

1. スポーツ関係のグループやクラブ	8. 業界団体・同業者団体・労働組合
2. 趣味関係のグループ	9. 市民運動・消費者運動のグループ
3. ボランティアのグループ	10. 宗教関係の団体や会
4. 町内会・自治会	11. 政治関係の団体や会
5. 老人クラブ	12. 職場関係のグループや会
6. 地域の防災活動	13. その他 ()
7. 地域行事 (祭り・運動会・文化祭など)	14. 参加していない

質問10 あなたには、次のような人はいますか。((ア) から (オ) について、それぞれ○は1つ)

	いない	あまりいない	どちらとも いえない	すこしいる	たくさんいる
(ア) 心配事や悩み事を聞いてくれる人	1	2	3	4	5
(イ) 気を配ったり、思いやってくれる人	1	2	3	4	5
(ウ) ちょっとした用事や留守番を頼める人	1	2	3	4	5
(エ) 自宅で2～3日寝込んだときに、 看病や世話をしてくれる人	1	2	3	4	5
(オ) 病院に入院したときに、看病したり、 家のことを手伝ってくれる人	1	2	3	4	5

質問11 あなたの周囲(家族、知人、友人など)に、健康や生活の状況が気になる人はいますか。
(○は1つ)

1. いる	2. いない	3. わからない
-------	--------	----------

質問12 あなたの周囲(家族、知人、友人など)に健康や生活の状況が気になる人がいる場合、あなたならどうしますか。(○は1つ)
その他の回答がある場合は、「4」に記入してください。

1. とりあえず声をかけて話をきく	3. 特に触れずそっとしておく
2. 相談先を知っていれば、話をきく	4. その他()

質問13 次の項目について、あなたの考えをお聞かせください。

((ア) から (イ) について、それぞれ○は1つ)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
(ア) こころの健康問題(精神疾患)は生活習慣病 と同じように、誰もがかかりうる病気だ	1	2	3	4	5
(イ) こころの健康問題(精神疾患)は早期に適切な 治療や支援を受ければ、多くは改善する	1	2	3	4	5

質問14 次の項目について、あなたの考えに当てはまるものを選んでください。

((ア) から (カ) について、それぞれ〇は1つ)

	そう思う おも	そう思わない おも	わからない
(ア) 自殺を口にする人は実際に自殺するつもりはない	1	2	3
(イ) ほとんどの自殺は予兆なく突然に起こる	1	2	3
(ウ) 自殺の危機にある人は死ぬ決意をしている	1	2	3
(エ) 自殺の危機にある人はその後ずっと自殺の危機から逃れられない	1	2	3
(オ) 精神疾患のある人だけが自殺する	1	2	3
(カ) 自殺の危機にある人と、自殺について話すことはよくない。自殺を促しているようにとらえられるかもしれない	1	2	3

質問15 社会全体で自殺対策に取り組む必要があるのはなぜだと思いますか。(〇はいくつでも)

1. すべての人にとって身近に存在する問題だから
2. 自殺した人の家族や周囲に大きな悲しみや困難をもたらすから
3. 社会全体にとって大きな損失になるから
4. 様々な社会制度や慣行が多くの人を自殺に追い込んでいるから
5. 自殺者を減らす取り組みは社会をよい方向に変えるから
6. 自殺する人はかわいそうだから
7. その他 ()
8. わからない

質問16 あなたは『ゲートキーパー※』という言葉を知っていましたか。(〇は1つ)

※『ゲートキーパー』とは、『自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る)をすることができる人のこと』です。

川崎市ではゲートキーパー養成に取り組んでいます。

- | | | |
|-------------|-------------|---------|
| 1. 内容を知っている | 2. 聞いたことはある | 3. 知らない |
|-------------|-------------|---------|

質問17 次の項目について、あなたはどのくらいできると思いますか。

((ア) から (カ) について、それぞれ〇は1つ)

	十分ではない	すこしではない	どちらともいえない	あまりできない	まったくできない
(ア) 悩んでいる人をねぎらう	1	2	3	4	5
(イ) 悩んでいる人に心配していることを伝える	1	2	3	4	5
(ウ) 悩んでいる人の話をじっくり聴く	1	2	3	4	5
(エ) 悩んでいる人に自殺を考えているかたずねる	1	2	3	4	5
(オ) 悩んでいる人に相談先を紹介する	1	2	3	4	5
(カ) 自分で自分の心身の健康を管理する	1	2	3	4	5

質問18 あなたはインターネットをどのくらい使っていますか。スマートフォン、パソコン、タブレットなどでの利用を含みます。(〇は1つ)

1. ほぼ毎日 3. 月に数回 5. ほぼ使わない

2. 週に数回 4. 月に1回以下

(質問18で、「1. ほぼ毎日」「2. 週に数回」「3. 月に数回」「4. 月に1回以下」とお答えの方

▶に)

質問18-1 あなたはインターネットを介して、友人や仲間とどのくらいの頻度で連絡したり、会話したりしますか。(〇は1つ)

1. ほぼ毎日 3. 月に数回 5. 連絡や会話はしていない

2. 週に数回 4. 月に1回以下

(質問18-1で、「1. ほぼ毎日」「2. 週に数回」「3. 月に数回」「4. 月に1回以下」とお答え

の方に)

▶質問18-2 あなたは、あなた自身の悩みを、インターネットを介して、どのくらい伝えてい

1. たくさん伝えている 3. あまり伝えていない

2. すこし伝えている 4. まったく伝えていない

質問19 新型コロナウイルス感染症が流行しました。あなたの考えに合うものを答えてください。
 (ア) から (キ) について、それぞれ○は1つ

	そう思う おも	どちらかといえば そう思う おも	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない おも	そう思わない おも
(ア) 新型コロナウイルスがとても怖い	1	2	3	4	5
(イ) 新型コロナウイルスについて考えると不快になる	1	2	3	4	5
(ウ) 新型コロナウイルスについて考えると手汗をかく	1	2	3	4	5
(エ) 新型コロナウイルスで命を失うことを恐れている	1	2	3	4	5
(オ) インターネットで新型コロナウイルスのニュースや話題をみると、緊張したり、不安になったりする	1	2	3	4	5
(カ) 新型コロナウイルス感染が心配で眠れない	1	2	3	4	5
(キ) 新型コロナウイルス感染について考えると、心拍が早くなったり、動悸がしたりする	1	2	3	4	5

質問20 新型コロナウイルス感染症の流行以降に、あなたの生活に起こった変化について最も合うものを答えてください。（(ア) から (ケ) について、それぞれ〇は1つ）
 その他の回答がある場合は、(ケ) に記入してください。

	そう思う おそ	どちらかといえば おそ	どちらともいえない	どちらかといえば おそ	そう思わない おそ
(ア) 職場における仕事量が増えた、または仕事の内容が変わった	1	2	3	4	5
(イ) 家庭における家事や育児、介護等の負担が増えた	1	2	3	4	5
(ウ) 人（同僚や家族、友人等）とのコミュニケーションの時間が少なくなった	1	2	3	4	5
(エ) 生活が脅かされるほど収入が少なくなった	1	2	3	4	5
(オ) 住居が失われた	1	2	3	4	5
(カ) こころの健康が悪化した	1	2	3	4	5
(キ) からだの健康が悪化した	1	2	3	4	5
(ク) 家族や大事な人とのつながりが失われた	1	2	3	4	5
(ケ) その他（ ）	1	2	3	4	5

あなた自身じしんについておたずねします。

質問21 あなたの性別せいべつと年齢ねんれいをおしえてください。性別せいべつを選択せんたくすることに違和感いわかんや抵抗感ていこうかんがある場合は、回答かいとうをいただかなくてけっこうです。

<性別> (〇は1つ)

- | | | |
|---------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 1. 男性 <small>だんせい</small> | 2. 女性 <small>じょせい</small> | 3. その他 <small>た</small> |
|---------------------------|---------------------------|-------------------------|

<年齢> (〇は1つ)

- | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 1. 20～29歳 <small>さい</small> | 3. 40～49歳 <small>さい</small> | 5. 60～69歳 <small>さい</small> |
| 2. 30～39歳 <small>さい</small> | 4. 50～59歳 <small>さい</small> | 6. 70歳以上 <small>さいいじょう</small> |

質問22 あなたの主たる職業しゅ しよくぎやうをお選びください。(〇は1つ)

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. フルタイムの勤務 <small>きんむ</small> | 5. 学生 <small>がくせい</small> |
| 2. パートタイムの勤務 <small>きんむ</small> | 6. 無職 <small>むしよく</small> (年金受給者 <small>ねんきんじゆきゆうしや</small> を含む <small>ふく</small>) |
| 3. 自営業 <small>じえいぎやう</small> | 7. その他 () |
| 4. 主婦・主夫 <small>しゆふ しゆふ</small> | |

質問23 家族かぞくの構成こうせいをお選びください。(〇は1つ)

- | | |
|--|--|
| 1. 単独世帯 <small>だんどくせたい</small> | 3. 親族 <small>しんぞく</small> のみの世帯 <small>せたい</small> (「1」、「2」以外 <small>いがい</small>) |
| 2. 核家族世帯 <small>かくかぞくせたい</small> (夫婦 <small>ふうふ</small> のみ、親 <small>おや</small> と子 <small>こ</small>) | 4. 親族以外 <small>しんぞくいがい</small> を含む世帯 <small>ふく せたい</small> |

質問24 あなたがお住まいすの区くはどこですか。(〇は1つ)

- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 川崎区 <small>かわさきく</small> | 3. 中原区 <small>なかはらく</small> | 5. 宮前区 <small>みやまえく</small> | 7. 麻生区 <small>あさおく</small> |
| 2. 幸区 <small>さいわいく</small> | 4. 高津区 <small>たかつく</small> | 6. 多摩区 <small>たまく</small> | |

質問25 あなたは川崎市かわさきしにどれくらい住すんでいますか。(〇は1つ)

- | | |
|--|---|
| 1. 5年未満 <small>ねんみまん</small> | 3. 10年以上20年未満 <small>ねんいじょう ねんみまん</small> |
| 2. 5年以上10年未満 <small>ねんいじょう ねんみまん</small> | 4. 20年以上 <small>ねんいじょう</small> |

質問しつもんは以上いじょうです。ご協力きょうりよくありがとうございました。

2023(令和5)年度
川崎市こころの健康に関する意識調査
報告書

2023(令和5)年11月

【問い合わせ先】

川崎市健康福祉局総合リハビリテーション推進センター
電話 044-200-3197 FAX 044-200-3974